

注3

大学番号：私231

[平成24年度設置]

計画の区分：学部・学科の設置

注1

届出

大阪音楽大学 音楽学部 音楽学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 大阪音楽大学
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学務事務部門

職名・氏名 審議役・学務事務部門長兼務
モリ モト トオル
森 本 徹

電話番号 06-6334-2133

（夜間） 06-6334-2133

F A X 06-6333-0286

e-mail kyoumu@daion.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部（平成◇◇年度より変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部・学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

音楽学部

＜音楽学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	29
4. 既設大学等の状況	31
5. 教員組織の状況	33
6. 留意事項等に対する履行状況等	67
7. その他全般的事項	69

1. 調査対象大学等の概要等

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 大阪音楽大学

(2) 大 学 名

大阪音楽大学

(3) 大学の位置

〒561-8555

大阪府豊中市庄内幸町1-1-8

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ナカムラ タカヨシ) 中 村 孝 義 (平成22年4月)	(平成24年4月)	理事長重任のため就任年月を変更 変更年月日：平成24年4月1日 (24)
学 長	(ナカムラ タカヨシ) 中 村 孝 義 (平成22年4月)	(ムトウ ヨシオ) 武 藤 好 男 (平成24年4月)	中村前学長の任期満了に伴う学 長選挙の結果、平成24年4月1日 就任。 変更年月日：平成24年4月1日 (24)
学 部 長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成 2 5 年度に報告済の内容 → (25)

平成 2 7 年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ 様式は、平成24年度開設の4年制の学科の場合（平成27年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
音楽学部 音楽学科 学士（音楽）	4 年	210 人	30 年次 人	900 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 210 (30) [-]	人	人 210 (30) [-]	人	人 210 (30) [-]	人	人 210 (30) [-]	人	0.81 倍	— 倍	
志願者数	234 (-) (-) [1] [-]	-	268 (-) (-) [1] [-]	-	228 (20) (-) [-] [-]	-	205 (23) (-) [-] [-]	-			
受験者数	225 (-) (-) [1] [-]	-	255 (-) (-) [1] [-]	-	225 (20) (-) [-] [-]	-	198 (23) (-) [-] [-]	-			
合格者数	210 (-) (-) [1] [-]	-	225 (-) (-) [1] [-]	-	217 (18) (-) [-] [-]	-	192 (20) (-) [-] [-]	-			
B 入学者数	177 (-) (-) [-] [-]	-	194 (-) (-) [1] [-]	-	175 (18) (-) [-] [-]	-	151 (20) (-) [-] [-]	-			
入学定員超過率 B / A	0.84		0.92		0.80		0.71				

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学（「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学）のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[ー] (ー) 177	[ー] (ー) ー	[1] (ー) 194	[ー] (ー) ー	[ー] (3) 178	[ー] (ー) ー	[ー] (ー) 151	[ー] (ー) ー	
2 年次			[ー] (ー) 172	[ー] (ー) ー	[1] (4) 189	[ー] (ー) ー	[ー] (5) 171	[ー] (ー) ー	
3 年次					[ー] (ー) 180	[ー] (ー) ー	[1] (7) 202	[ー] (ー) ー	
4 年次							[ー] (ー) 170	[ー] (ー) ー	
計	[ー] (ー) 177		[1] (ー) 366		[1] (7) 547		[1] (12) 694		

(注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

・ []内には、留学生の状況について **内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	177 人	17 人	平成24年度	5 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への 入学(2人)、除籍(1人)	9.6 %
			平成25年度	6 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、就職(1人)、他の教 育機関への入学(2人)、海外留学(2人)	
			平成26年度	6 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への 入学(1人)、海外留学(1人)、除籍(1人)、経 済的な理由(2人)	
			平成27年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	194 人	14 人	平成25年度	6 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、除籍(1人)、他の教 育機関への入学(4人)	7.2 %
			平成26年度	8 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への 入学(4人)、海外留学(2人)、就職(1人)	
			平成27年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	175 人	10 人	平成26年度	10 人	0 人	他の教育機関への入学(5人)、除籍(2人)、 経済的な理由(3人)	5.7 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	151 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	697 人	41 人					5.9 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要は
ありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)

により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための
準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2. 授業科目の概要

2 授業科目の概要

<音楽学部 音楽学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 教 育 科 目 （ 必 須 ）	作曲Ⅰ	1 前		3		3					兼3	教育課程充実のため教授1名を担当者として追加(27) 教職課程認定申請のため、各科目に 兼任教員1名を追加、オムニバス方 式の授業に変更(24) 担当教員1名助教から准教授 に昇格のため(25) 教育課程充実のため 教授1名を担当者として追加(27) AⅠ～BⅢの教員配置を変更(26)
	作曲Ⅱ	1 後		3		3					兼3	
	作曲Ⅲ	2 前		3		3					兼3	
	作曲Ⅳ	2 後		3		3					兼3	
	作曲Ⅴ	3 前		3		3					兼3	
	作曲Ⅵ	3 後		3		3					兼3	
	作曲Ⅶ	4 前		3		3					兼3	
	作曲Ⅷ	4 後		3		3					兼3	
	音楽学演習 AⅠ	1 前		3		1	1				兼1	
	音楽学演習 BⅠ	1 後		3			1		+		兼1	
	音楽学演習 AⅡ	2 前		3			+		+		兼+	
						1					兼2	
	音楽学演習 BⅡ	2 後		3		+					兼+	
	音楽学演習 AⅢ	3 前		3		1	1				兼+	
	音楽学演習 BⅢ	3 後		3		1	1				兼+	
	音楽学演習 AⅣ	4 前		3		1						
	音楽学演習 BⅣ	4 後		3		1						
								2			兼29	
	声乐Ⅰ	1 前		3		5	+		+		兼22	
								2			兼29	
	声乐Ⅱ	1 後		3		5	+		+		兼22	
								2			兼29	
	声乐Ⅲ	2 前		3		5	+		+		兼22	
								2			兼29	
	声乐Ⅳ	2 後		3		3	+		+		兼22	
								2			兼29	
	声乐Ⅴ	3 前		3		5	+		+		兼22	
								2			兼29	
	声乐Ⅵ	3 後		3		5	+		+		兼22	
								2			兼29	
声乐Ⅶ	4 前		3		5	+		+		兼22		
							2			兼29		
声乐Ⅷ	4 後		3		5	+		+		兼22		
					7	1				兼47		
ピアノⅠ	1 前		3		6	2				兼48		
										兼50		

パイプオルガンⅢ	2 前	3					兼1	
パイプオルガンⅣ	2 後	3					兼1	
パイプオルガンⅤ	3 前	3					兼1	
パイプオルガンⅥ	3 後	3					兼1	
パイプオルガンⅦ	4 前	3					兼1	
パイプオルガンⅧ	4 後	3					兼1	
邦楽楽器 A Ⅰ	1 前	3					兼2	
邦楽楽器 A Ⅱ	1 後	3					兼2	
邦楽楽器 A Ⅲ	2 前	3					兼2	
邦楽楽器 A Ⅳ	2 後	3					兼2	
邦楽楽器 A Ⅴ	3 前	3					兼2	
邦楽楽器 A Ⅵ	3 後	3					兼2	
邦楽楽器 A Ⅶ	4 前	3					兼2	
邦楽楽器 A Ⅷ	4 後	3					兼2	
							兼50	教育課程充実のため、兼任教員3名を追加(27)
							兼47	兼任教員2名が就任を辞退し、12名を追加(26)
							兼37	兼任教員1名が就任辞退のため(24)
管楽器Ⅰ	1 前	3		2	1		兼38	(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)
							兼50	教育課程充実のため、兼任教員3名を追加(27)
							兼47	兼任教員2名が就任を辞退し、12名を追加(26)
							兼37	兼任教員1名が就任辞退のため(24)
管楽器Ⅱ	1 後	3		2	1		兼38	(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)
							兼50	教育課程充実のため、兼任教員3名を追加(27)
							兼47	兼任教員2名が就任を辞退し、12名を追加(26)
							兼37	兼任教員1名が就任辞退のため(24)
管楽器Ⅲ	2 前	3		2	1		兼38	(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)
							兼50	教育課程充実のため、兼任教員3名を追加(27)
							兼47	兼任教員2名が就任を辞退し、12名を追加(26)
							兼37	兼任教員1名が就任辞退のため(24)
管楽器Ⅳ	2 後	3		2	1		兼38	(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)
							兼50	教育課程充実のため、兼任教員3名を追加(27)
							兼47	兼任教員2名が就任を辞退し、12名を追加(26)
							兼37	兼任教員1名が就任辞退のため(24)
管楽器Ⅴ	3 前	3		2	1		兼38	(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)
							兼50	教育課程充実のため、兼任教員3名を追加(27)
							兼47	兼任教員2名が就任を辞退し、12名を追加(26)
							兼37	兼任教員1名が就任辞退のため(24)
管楽器Ⅵ	3 後	3		2	1		兼38	(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)
							兼50	教育課程充実のため、兼任教員3名を追加(27)
							兼47	兼任教員2名が就任を辞退し、12名を追加(26)
							兼37	兼任教員1名が就任辞退のため(24)
管楽器Ⅶ	4 前	3		2	1		兼38	(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)
							兼50	教育課程充実のため、兼任教員3名を追加(27)
							兼47	兼任教員2名が就任を辞退し、12名を追加(26)
							兼37	兼任教員1名が就任辞退のため(24)
管楽器Ⅷ	4 後	3		2	1		兼38	(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)
							兼18	兼任教員1名が就任を辞退し、2名を追加(27)
							兼17	兼任教員6名を追加(26)
							兼11	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
弦楽器Ⅰ	1 前	3		2 +	+		兼12	兼任教員1名が就任辞退のため(24)
								(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)
							兼18	兼任教員1名が就任を辞退し、2名を追加(27)
							兼17	兼任教員6名を追加(26)
							兼11	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
							兼12	兼任教員1名が就任辞退のため(24)
弦楽器Ⅱ	1 後	3		2 +	+		兼12	(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)

	打楽器Ⅶ	4 前		3						兼5 兼4 兼2	教育課程充実のため、兼任教員1名を追加(27) 兼任教員2名を追加(26)
	打楽器Ⅷ	4 後		3						兼5 兼4 兼2	教育課程充実のため、兼任教員1名を追加(27) 兼任教員2名を追加(26)
	電子オルガンⅠ	1 前		3						兼4	
	電子オルガンⅡ	1 後		3						兼4	
	電子オルガンⅢ	2 前		3						兼4	
	電子オルガンⅣ	2 後		3						兼4	
	電子オルガンⅤ	3 前		3						兼4	
	電子オルガンⅥ	3 後		3						兼4	
	電子オルガンⅦ	4 前		3						兼4	
	電子オルガンⅧ	4 後		3						兼4	
	ジャズⅠ	1 前		3		1				兼9 兼7	兼任教員2名を追加(26)
	ジャズⅡ	1 後		3		1				兼9 兼7	兼任教員2名を追加(26)
	ジャズⅢ	2 前		3		1				兼9 兼7	兼任教員2名を追加(26)
	ジャズⅣ	2 後		3		1				兼9 兼7	兼任教員2名を追加(26)
	ジャズⅤ	3 前		3		1				兼9 兼7	兼任教員2名を追加(26)
	ジャズⅥ	3 後		3		1				兼9 兼7	兼任教員2名を追加(26)
	ジャズⅦ	4 前		3		1				兼9 兼7	兼任教員2名を追加(26)
	ジャズⅧ	4 後		3		1				兼9 兼7	兼任教員2名を追加(26)
	クラシックギターⅠ	1 前		3						兼1	
	クラシックギターⅡ	1 後		3						兼1	
	クラシックギターⅢ	2 前		3						兼1	
	クラシックギターⅣ	2 後		3						兼1	
	クラシックギターⅤ	3 前		3						兼1	
	クラシックギターⅥ	3 後		3						兼1	
	クラシックギターⅦ	4 前		3						兼1	
	クラシックギターⅧ	4 後		3						兼1	
	西洋音楽史概説A	1 前	2				1		+	兼2	担当教員1名助教から准教授に昇格のため(25)
	西洋音楽史概説B	1 後	2				1		+	兼2	担当教員1名助教から准教授に昇格のため(25)
	音楽基礎セミナー	1 後	1			3 -2 +	2		+	兼2 兼1	助教1名が就任。 オムニバス授業の充実のため、 教授1名、兼任1名を追加(27) 教育課程充実のため教授1名を追加(25) 担当教員1名助教から准教授に昇格のため(25) 准教授1名を新規採用のため(25) 教育課程充実のため兼任1名を追加(25)
	卒業作品又は卒業研究又は卒業演奏	4 後	4			6 -5 +	+			兼5	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
											助教1名が就任(27) 教授1名を担当者として追加(27) 兼任教員3名が就任を辞退し、16名を追加(27) 兼任教員2名が就任を辞退し、24名を追加(26) 准教授1名が教授に就任し、 兼任1名が准教授に就任(26) 教員2名助教から准教授に昇格のため(25) 准教授1名を採用のため(25) 教員1名准教授から教授に昇格のため(24)
	小計 (112科目)	-	9	336	0	21 -20 +1 -10 -4	6 -3 0 -2	1 -0 0	0	兼175 兼162 兼141 兼145	
	作曲理論Ⅰ	1 前		3		3				兼3	
	作曲理論Ⅱ	1 後		3		3				兼3	
	作曲理論Ⅲ	2 前		3		3				兼3	
	作曲理論Ⅳ	2 後		3		3				兼3	

専門教育科目（選択）	楽曲分析 A I	1 前	1					兼1	
	楽曲分析 B I	1 後	1					兼1	
	楽曲分析 A II	2 前	1		1				
	楽曲分析 B II	2 後	1		1				
	楽曲分析 A III	3 前	1		1			兼1	教育課程充実のため兼任教員1名を追加(25)
	楽曲分析 B III	3 後	1		1			兼1	教育課程充実のため兼任教員1名を追加(25)
	楽曲分析 A IV	4 前	1		1				
	楽曲分析 B IV	4 後	1		1				
	スコアリーディング A	2 前	1					兼1	
	スコアリーディング B	2 後	1					兼1	
									兼任教員1名が就任を辞退し、 兼67 教育課程充実のため6名を追加(27)
								兼62	兼任教員2名が就任を辞退し、15名を追加(26)
								兼49	兼任教員1名就任辞退のため(24)
	副科管・弦・打楽器 I	1 前	2		3	2		兼50	(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)
									兼任教員1名が就任を辞退し、 兼67 教育課程充実のため6名を追加(27)
								兼62	兼任教員2名が就任を辞退し、15名を追加(26)
								兼49	兼任教員1名就任辞退のため(24)
	副科管・弦・打楽器 II	1 後	2		3	2		兼50	(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)
									兼任教員1名が就任を辞退し、 兼67 教育課程充実のため6名を追加(27)
								兼62	兼任教員2名が就任を辞退し、15名を追加(26)
								兼49	兼任教員1名就任辞退のため(24)
	副科管・弦・打楽器 III	2 前	2		3	2		兼50	(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)
									兼任教員1名が就任を辞退し、 兼67 教育課程充実のため6名を追加(27)
								兼62	兼任教員2名が就任を辞退し、15名を追加(26)
								兼49	兼任教員1名就任辞退のため(24)
	副科管・弦・打楽器 IV	2 後	2		3	2		兼50	(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)
	民族音楽学 A	2 前	2		1				
	民族音楽学 B	2 後	2		1				
	声楽基礎演習 A I	1 前	1		1			兼2	
	声楽基礎演習 B I	1 後	1		1			兼2	
	声楽基礎演習 A II	2 前	1			1		兼1	担当教員1名助教から准教授に昇格のため(25)
	声楽基礎演習 B II	2 後	1			1		兼1	担当教員1名助教から准教授に昇格のため(25)
	合唱 A I	1 前	1		1			兼1	
	合唱 B I	1 後	1		1			兼1	
	合唱 A II	2 前	1		1			兼2	
	合唱 B II	2 後	1		1			兼2	
	合唱 A III	3 前	1		1			兼1	担当教員を兼任から教授に変更(27)
	合唱 B III	3 後	1		1			兼1	担当教員を兼任から教授に変更(27)
	合唱 C	4 前	1		1			兼1	担当教員を兼任から教授に変更(27)
	合唱 D	4 後	1		1			兼1	担当教員を兼任から教授に変更(27)
	オペラ研究 A I	3 前	1		1			兼3	
								兼2	教育課程充実のため兼任教員1名を追加(27)
	オペラ研究 B I	3 後	1		1			兼3	
								兼2	教育課程充実のため兼任教員1名を追加(27)
	演技演習 A I	1 前	1					兼1	
	演技演習 B I	1 後	1					兼1	
	演技演習 A II	2 前	1					兼2	
	演技演習 B II	2 後	1					兼2	
	ピアノ基礎講座 A	1 前	2		2				
	ピアノ基礎講座 B	1 後	2		2			兼2	
					2				
	ピアノ基礎演習 A	2 前	1		1	1			担当の准教授が教授に昇格のため(24)
					2				
	ピアノ基礎演習 B	2 後	1		1	1			担当の准教授が教授に昇格のため(24)
	ピアノ指導法 A I	1 前	1					兼1	教育課程充実のため科目を追加(26)
	ピアノ指導法 B I	1 後	1		1				教育課程充実のため科目を追加(26)
	指導者基礎演習 I	1 前	1					兼1	教育課程充実のため科目を追加(26)
	指導者基礎演習 II	1 後	1					兼1	教育課程充実のため科目を追加(26)
	初見視奏 I	1 前	1					兼1	教育課程充実のため科目を追加(26)

初見視奏Ⅱ	1 後	1	1				教育課程充実のため科目を追加(26)
ピアノ指導法AⅡ	2 前	1					兼1 教育課程充実のため科目を追加(27)
ピアノ指導法BⅡ	2 後	1					兼1 教育課程充実のため科目を追加(27)
指導者基礎演習Ⅲ	2 前	1					兼1 教育課程充実のため科目を追加(27)
指導者基礎演習Ⅳ	2 後	1					兼1 教育課程充実のため科目を追加(27)
即興演奏Ⅰ	2 前	1					兼1 教育課程充実のため科目を追加(27)
即興演奏Ⅱ	2 後	1					兼1 教育課程充実のため科目を追加(27)
移調奏	2 前	1					兼1 教育課程充実のため科目を追加(27)
							兼任教員1名 就任辞退のため(27)
				7	1	兼47 担当教員1名 准教授から教授に昇格のため(24)	
ピアノ 特AⅦ	4 前	4		-6	-2	兼48 兼任教員2名 就任辞退のため(24)	
						兼50 (平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)	
						兼任教員1名 就任辞退のため(27)	
				7	1	兼47 担当教員1名 准教授から教授に昇格のため(24)	
ピアノ 特AⅧ	4 後	4		-6	-2	兼48 兼任教員2名 就任辞退のため(24)	
						兼50 (平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)	
				7	1		
ピアノ 特BⅠ	1 前	1		-6	-2	兼48 兼任教員2名 就任辞退のため(24)	
						兼50 (平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)	
				7	1		
ピアノ 特BⅡ	1 後	1		-6	-2	兼48 兼任教員2名 就任辞退のため(24)	
						兼50 (平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)	
				7	1		
ピアノ 特BⅢ	2 前	1		-6	-2	兼48 兼任教員2名 就任辞退のため(24)	
						兼50 (平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)	
				7	1		
ピアノ 特BⅣ	2 後	1		-6	-2	兼48 兼任教員2名 就任辞退のため(24)	
						兼50 (平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)	
				7	1		
ピアノ 特BⅤ	3 前	1		-6	-2	兼48 兼任教員2名 就任辞退のため(24)	
						兼50 (平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)	
				7	1		
ピアノ 特BⅥ	3 後	1		-6	-2	兼48 兼任教員2名 就任辞退のため(24)	
						兼50 (平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)	
				7	1		
ピアノ 特BⅦ	4 前	1		-6	-2	兼48 兼任教員2名 就任辞退のため(24)	
						兼50 (平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)	
				7	1		
ピアノ 特BⅧ	4 後	1		-6	-2	兼48 兼任教員2名 就任辞退のため(24)	
						兼50 (平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)	
ピアノ演習 特AⅠ	1 前	1		1			
ピアノ演習 特BⅠ	1 後	1		1			
ピアノ演習 特AⅡ	2 前	1		1			
ピアノ演習 特BⅡ	2 後	1		1	1		教育課程充実のため准教授1名を追加(25)
ピアノ演習 特AⅢ	3 前	1		1			
ピアノ演習 特BⅢ	3 後	1		1			
ピアノ演習 特AⅣ	4 前	1		1			
ピアノ演習 特BⅣ	4 後	1		1			
通奏低音奏法A	2 前	1					兼0 履修希望者が少ないため開講中止(27)
							兼1
通奏低音奏法B	2 後	1					兼0 履修希望者が少ないため開講中止(27)
通奏低音奏法C	3 前	1					兼1
通奏低音奏法D	3 後	1					兼1
オルガン基礎理論A	1 前	2					兼1

オルガン基礎理論B	1 後	2				兼1	
オルガン音楽史 A	2 前	2				兼1	
オルガン音楽史 B	2 後	2				兼1	
オルガン構造学 A	3 前	2				兼1	
オルガン構造学 B	3 後	2				兼1	
			2				
弦楽器特 A VII	4 前	4	+	+			専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
			2				
弦楽器特 A VIII	4 後	4	+	+			専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
邦楽楽器 B I	1 前	2				兼2	
邦楽楽器 B II	1 後	2				兼2	
邦楽楽器 B III	2 前	2				兼2	
邦楽楽器 B IV	2 後	2				兼2	
邦楽楽器 B V	3 前	2				兼2	
邦楽楽器 B VI	3 後	2				兼2	
邦楽楽器 B VII	4 前	2				兼2	
邦楽楽器 B VIII	4 後	2				兼2	
邦楽概論 A	2 前	2				兼1	
邦楽概論 B	2 後	2				兼1	
電子オルガンクラシック基礎演習 I	1 前	1				兼1	
電子オルガンクラシック基礎演習 II	1 後	1				兼1	
電子オルガンクラシック基礎演習 III	2 前	1				兼1	
電子オルガンクラシック基礎演習 IV	2 後	1				兼1	
電子オルガンジャズ・ポピュラー基礎演習 I							
電子オルガンポピュラー基礎演習 I	1 前	1				兼1	教育課程充実のための名称変更(25)
電子オルガンジャズ・ポピュラー基礎演習 II							
電子オルガンポピュラー基礎演習 II	1 後	1				兼1	教育課程充実のための名称変更(25)
電子オルガンジャズ・ポピュラー基礎演習 III							
電子オルガンポピュラー基礎演習 III	2 前	1				兼1	教育課程充実のための名称変更(25)
電子オルガンジャズ・ポピュラー基礎演習 IV							
電子オルガンポピュラー基礎演習 IV	2 後	1				兼1	教育課程充実のための名称変更(25)
電子オルガンクラシック応用演習 I	3 前	1				兼1	
電子オルガンクラシック応用演習 II	3 後	1				兼1	
電子オルガンクラシック応用演習 III	4 前	1				兼1	
電子オルガンクラシック応用演習 IV	4 後	1				兼1	
電子オルガンジャズ・ポピュラー応用演習 I							
電子オルガンポピュラー応用演習 I	3 前	1				兼1	教育課程充実のための名称変更(25)
電子オルガンジャズ・ポピュラー応用演習 II							
電子オルガンポピュラー応用演習 II	3 後	1				兼1	教育課程充実のための名称変更(25)
電子オルガンジャズ・ポピュラー応用演習 III							
電子オルガンポピュラー応用演習 III	4 前	1				兼1	教育課程充実のための名称変更(25)
電子オルガンジャズ・ポピュラー応用演習 IV							
電子オルガンポピュラー応用演習 IV	4 後	1				兼1	教育課程充実のための名称変更(25)
電子オルガンアンサンブル I	3 前	1				兼1	
電子オルガンアンサンブル II	3 後	1				兼1	
電子オルガンアンサンブル III	4 前	1				兼1	
電子オルガンアンサンブル IV	4 後	1				兼1	
レパートリー実践 I	1 前	1				兼1	
レパートリー実践 II	1 後	1				兼1	
レパートリー実践 III	2 前	1				兼1	
レパートリー実践 IV	2 後	1				兼1	
レパートリー実践 V	3 前	1				兼1	
レパートリー実践 VI	3 後	1				兼1	
						兼0	
楽器活用法 I	1 前	1				兼1	履修希望者が少ないため開講中止(27)
						兼0	
楽器活用法 II	1 後	1				兼1	履修希望者が少ないため開講中止(27)
ジャズ・アンサンブル I	1 前	1				兼1	
ジャズ・アンサンブル II	1 後	1				兼1	
ジャズ・アンサンブル III	2 前	1				兼1	
ジャズ・アンサンブル IV	2 後	1				兼1	
ジャズ・アンサンブル V	3 前	1		+		兼1	担当教員を教授から兼任に変更(26)
ジャズ・アンサンブル VI	3 後	1		+		兼1	担当教員を教授から兼任に変更(26)
ジャズ・アンサンブル VII	4 前	1		+		兼1	担当教員を教授から兼任に変更(27)
ジャズ・アンサンブル VIII	4 後	1		+		兼1	担当教員を教授から兼任に変更(27)
ジャズ・パフォーマンス I	1 前	1				兼3	

ジャズ・パフォーマンスⅡ	1 後	1					兼3	
ジャズ・パフォーマンスⅢ	2 前	1					兼3	
ジャズ・パフォーマンスⅣ	2 後	1					兼3	
ジャズ・パフォーマンスⅤ	3 前	1					兼3	
ジャズ・パフォーマンスⅥ	3 後	1					兼3	
ジャズ・パフォーマンスⅦ	4 前	1					兼3	
ジャズ・パフォーマンスⅧ	4 後	1					兼3	
							兼2	
バンド・パフォーマンスⅠ	2 前	1					兼3	兼任教員の配置人数を変更(26)
							兼2	
バンド・パフォーマンスⅡ	2 後	1					兼3	兼任教員の配置人数を変更(26)
							兼2	
バンド・パフォーマンスⅢ	3 前	1					兼3	兼任教員の配置人数を変更(26)
							兼2	
バンド・パフォーマンスⅣ	3 後	1					兼3	兼任教員の配置人数を変更(26)
							兼0	
アドバンスド・ジャズ・セオリーⅠ	3 前	1					兼1	履修希望者が少ないため開講中止(27)
							兼0	
アドバンスド・ジャズ・セオリーⅡ	3 後	1					兼1	履修希望者が少ないため開講中止(27)
ジャズ・リズム演習Ⅰ	1 前	1					兼1	
ジャズ・リズム演習Ⅱ	1 後	1					兼1	
クラシックギター基礎演習AⅠ	1 前	1					兼1	
クラシックギター基礎演習BⅠ	1 後	1					兼1	
							兼0	
クラシックギター基礎演習AⅡ	2 前	1					兼1	対象学生がいないため開講中止(27)
							兼0	
クラシックギター基礎演習BⅡ	2 後	1					兼1	対象学生がいないため開講中止(27)
							兼0	
コンピューター 音楽研究AⅠ	1 前	1					兼1	履修希望者が少ないため開講中止(27)
							兼0	
コンピューター 音楽研究BⅠ	1 後	1					兼1	履修希望者が少ないため開講中止(27)
							兼0	
コンピューター 音楽研究AⅡ	2 前	1					兼1	履修希望者が少ないため開講中止(27)
							兼0	
コンピューター 音楽研究BⅡ	2 後	1					兼1	履修希望者が少ないため開講中止(27)
							兼1	
現代音楽演習A	3 前	1		0				履修希望者が少ないため開講中止(27)
				+				
現代音楽演習B	3 後	1		0				履修希望者が少ないため開講中止(27)
				+				
音楽美学A	2 前	2		1				
音楽美学B	2 後	2		1				
西洋音楽史(鍵盤)A	2 前	2					兼1	
西洋音楽史(鍵盤)B	2 後	2					兼1	
								兼任教員1名就任辞退のため助教を配置(24)
							兼0	(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)
西洋音楽史(管弦楽)A	2 前	2			1		兼1	担当教員1名助教から准教授に昇格のため(25)
							兼1	履修希望者が少ないため開講中止(27)
								兼任教員1名就任辞退のため助教を配置(24)
							兼0	(平成24年度記入ミスのため平成25年度追記)
西洋音楽史(管弦楽)B	2 後	2			0		兼1	担当教員1名助教から准教授に昇格のため(25)
					+		兼0	
西洋音楽史(オペラ)A	2 前	2					兼1	隔年開講とするため平成27年度は開講中止。(27)
							兼0	
西洋音楽史(オペラ)B	2 後	2					兼1	隔年開講とするため平成27年度は開講中止。(27)
西洋音楽史(リート)A	2 前	2					兼1	
西洋音楽史(リート)B	2 後	2					兼1	
音楽学講義	3 前	2		1			兼1	教育課程充実のため教授1名追加(25)
							兼1	
現代社会と音楽	3 後	2			1		兼2	兼任教員1名が就任を辞退し、准教授1名を追加(26)
メディア産業と音楽	2 前	2		1			兼1	教育課程充実のため兼任1名追加(25)
音楽マネジメント実践演習	2 後	1		1				
音楽心理学A	2 前	2					兼1	

音楽心理学 B	2 後	2				兼1	
音楽ホール運営論	2 前	2	+	1			担当教員を教授から准教授に変更 (27)
音楽ホール運営実践演習	2 後	1	+	1			担当教員を教授から准教授に変更 (27)
日本の伝統音楽 A	2 前	2				兼0	
						兼1	隔年開講とするため平成27年度は開講中止。(27)
						兼0	
日本の伝統音楽 B	2 後	2				兼1	隔年開講とするため平成27年度は開講中止。(27)
楽器学	2 前	2	1			兼1	担当教員を兼任から教授に変更 (27)
ガムラン入門	2 後	1				兼1	
ジャズ音楽論	2 前	2				兼1	
ポピュラー音楽論	2 後	2				兼1	
音楽プロデュース論	2 前	2				兼1	
音楽プロデュース実践演習	2 後	1				兼1	
			0				
フィールドワーク演習 A	2 前	1	+			兼1	担当教員を教授から兼任に変更 (27)
			0				
フィールドワーク演習 B	2 後	1	+			兼1	担当教員を教授から兼任に変更 (27)
西洋古楽演奏演習 A I	1 前	1				兼3	
西洋古楽演奏演習 B I	1 後	1				兼3	
						兼0	
民族音楽演奏演習 A I	1 前	1				兼1	履修希望者が少ないため開講中止 (27)
						兼0	
民族音楽演奏演習 B I	1 後	1				兼1	履修希望者が少ないため開講中止 (27)
西洋古楽演奏演習 A II	2 前	1				兼3	
西洋古楽演奏演習 B II	2 後	1				兼3	
						兼0	
民族音楽演奏演習 A II	2 前	1				兼1	履修希望者が少ないため開講中止 (27)
						兼0	
民族音楽演奏演習 B II	2 後	1				兼1	履修希望者が少ないため開講中止 (27)
西洋古楽演奏演習 A III	3 前	1				兼3	
西洋古楽演奏演習 B III	3 後	1				兼3	
						兼0	
民族音楽演奏演習 A III	3 前	1				兼1	履修希望者が少ないため開講中止 (27)
						兼0	
民族音楽演奏演習 B III	3 後	1				兼1	履修希望者が少ないため開講中止 (27)
西洋古楽演奏演習 A IV	4 前	1				兼3	
西洋古楽演奏演習 B IV	4 後	1				兼3	
	未開講					兼0	
民族音楽演奏演習 A IV	4 前	1				兼1	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (27)
	未開講					兼0	
民族音楽演奏演習 B IV	4 後	1				兼1	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (27)
					0		
				+			クラス編成の変更により准教授1名を削除 (27)
				0			教員の急な就任辞退 (退職) により、教員を追加 (24)
ソルフェージュ I	1 前	1	1	+			担当 和泉耕二 (教授)
				+			教育課程充実のため准教授1名を追加 (25)
					1		教員の急な就任辞退 (退職) により、教員を追加 (24)
				0			平成24年度記入ミスのため上記を一部削除 (25)
ソルフェージュ II	1 前	1	1	+		兼2	教育課程充実のため准教授1名を追加 (25)
				+		兼1	教育課程充実のため兼任1名を追加 (25)
							教員の急な就任辞退 (退職) により、教員を追加 (24)
						兼2	平成24年度記入ミスのため上記を一部削除 (25)
ソルフェージュ III	1 前	1	1	1	1	兼3	兼任教員1名を准教授として採用のため (25)
ソルフェージュ IV	1 後	1	1	1	1	兼4	教育課程充実のため准教授1名を追加 (25)
							クラス編成の変更により兼任2名の
						兼1	担当を削除し、准教授1名を追加 (26)
ソルフェージュ V	2 前	1			1	兼3	(平成26年度記入ミスのため平成27年度追記)
ソルフェージュ VI	2 後	1			1	兼3	
応用ソルフェージュ I	1 前	1	1	1	1	兼2	教育課程充実のため准教授1名を追加 (25)
応用ソルフェージュ II	1 後	1	1	1	1	兼2	教育課程充実のため准教授1名を追加 (25)
応用ソルフェージュ III	2 前	1				兼1	
応用ソルフェージュ IV	2 後	1				兼1	
視唱 A	3 前	1				兼1	
視唱 B	3 後	1				兼1	

					0			教員の急な就任辞退（退職）により、教員を減額（24）
聴音 A	3 前	1			1		兼1	平成24年度記入ミスのため上記を一部削除（25）
聴音 B	3 後	1		1		兼1	兼1	教育課程充実のため兼任1名を追加（25）
視奏 A	3 前	1		1		兼1	兼1	教育課程充実のため兼任1名を追加（25）
視奏 B	3 後	1		1		兼1	兼1	教育課程充実のため兼任1名を追加（25）
リズムソルフェージュ A	3 前	1				兼1	兼0	
リズムソルフェージュ B	3 後	1				兼1	兼1	履修希望者が少ないため開講中止（27）
ソルフェージュ教育法 A	3 前	1		1		兼0	兼1	兼任教員1名を准教授として採用のため（25）
ソルフェージュ教育法 B	3 後	1		1		兼0	兼1	兼任教員1名を准教授として採用のため（25）
副科声楽 A I	2 前	1				兼4	兼3	教育課程充実のため兼任教員を1名追加（26）
副科声楽 B I	2 後	1				兼4	兼3	教育課程充実のため兼任教員を1名追加（26）
副科声楽 A II	3 前	1				兼2	兼2	
副科声楽 B II	3 後	1				兼2	兼1	
舞台研究 A	3 前	1				兼1	兼1	
舞台研究 B	3 後	1				兼1	兼1	
								兼任教員1名就任辞退のため（27）
				6	1	兼47	兼48	担当教員1名准教授から教授に昇格のため（24）
副科鍵盤楽器 I	1 前	2		5	2	兼50	兼50	兼任教員2名就任辞退のため（24） （平成24年度記入ミスのため平成25年度追記）
								兼任教員1名就任辞退のため（27）
				6	1	兼47	兼48	担当教員1名准教授から教授に昇格のため（24）
副科鍵盤楽器 II	1 後	2		5	2	兼50	兼50	兼任教員2名就任辞退のため（24） （平成24年度記入ミスのため平成25年度追記）
副科鍵盤楽器演習 A I	1 前	1				兼1	兼1	
副科鍵盤楽器演習 B I	1 後	1				兼1	兼1	
副科鍵盤楽器演習 A II	2 前	1				兼1	兼1	
副科鍵盤楽器演習 B II	2 後	1				兼1	兼1	
								兼任教員1名就任辞退のため（27）
				6	1	兼47	兼48	兼任教員2名就任辞退のため（24） （平成24年度記入ミスのため平成27年度追記）
副科鍵盤楽器 III	2 前	2		5	2	兼50	兼50	担当教員1名准教授から教授に昇格のため（24）
								兼任教員1名就任辞退のため（27）
				6	1	兼47	兼48	兼任教員2名就任辞退のため（24） （平成24年度記入ミスのため平成27年度追記）
副科鍵盤楽器 IV	2 後	2		5	2	兼50	兼50	担当教員1名准教授から教授に昇格のため（24）
								兼任教員1名就任辞退のため（27）
				6	1	兼47	兼48	兼任教員2名就任辞退のため（24） （平成24年度記入ミスのため平成27年度追記）
副科鍵盤楽器 V	3 前	2		5	2	兼50	兼50	担当教員1名准教授から教授に昇格のため（24）
								兼任教員1名就任辞退のため（27）
				6	1	兼47	兼48	兼任教員2名就任辞退のため（24） （平成24年度記入ミスのため平成27年度追記）
副科鍵盤楽器 VI	3 後	2		5	2	兼50	兼50	担当教員1名准教授から教授に昇格のため（24）
								兼任教員1名就任辞退のため（27）
				6	1	兼47	兼48	兼任教員2名就任辞退のため（24） （平成24年度記入ミスのため平成27年度追記）
副科鍵盤楽器 VII	4 前	2		5	2	兼50	兼50	担当教員1名准教授から教授に昇格のため（24）
								兼任教員1名就任辞退のため（27）
				6	1	兼47	兼48	兼任教員2名就任辞退のため（24） （平成24年度記入ミスのため平成27年度追記）
副科鍵盤楽器 VIII	4 後	2		5	2	兼50	兼50	担当教員1名准教授から教授に昇格のため（24）
	1 前							履修希望者が基準に達したため開講（26）
副科ジャズ・ピアノ演習 I	1 前	1				兼1	兼1	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため（24）
	1 後							
	未開講							履修希望者が基準に達したため開講（26）
副科ジャズ・ピアノ演習 II	1 後	1				兼1	兼1	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため（24）

指揮法Ⅰ	1 前	2					兼1
指揮法Ⅱ	2 前	1					兼1
指揮法Ⅲ	3 前	1					兼1
指揮法Ⅳ	3 後	1					兼1
指揮法Ⅴ	4 前	1					兼1
指揮法Ⅵ	4 後	1					兼1
音楽療法概説Ⅰ	1 前	2					兼1
音楽療法概説Ⅱ	1 後	2					兼1
音楽療法Ⅰ	2 前	2					兼1
音楽療法Ⅱ	2 前	2					兼1
音楽療法Ⅲ	2 前	2					兼1
音楽療法Ⅳ	2 前	2					兼1
音楽療法応用技法	3 前	1					兼1
管弦楽法Ⅰ	2 前	1					兼1
管弦楽法Ⅱ	2 後	1					兼1
デ・スコップ・ミュージック演習Ⅰ	3 前	1					兼2
デ・スコップ・ミュージック演習Ⅱ	3 後	1					兼2
近代和声法Ⅰ	4 前	1					兼1
近代和声法Ⅱ	4 後	1					兼1
対位法Ⅰ	3 前	1					兼1
対位法Ⅱ	3 後	1					兼1
吹奏楽を素材とした音楽指導Ⅰ	3 前	2					兼1
吹奏楽を素材とした音楽指導Ⅱ	3 後	2					兼1
西洋古典舞踊Ⅰ	2 前	1					兼1
西洋古典舞踊Ⅱ	2 後	1					兼1
西洋古典舞踊Ⅲ	3 前	1					兼1
西洋古典舞踊Ⅳ	3 後	1					兼1
舞台論特別実習	4 後	1	1				
演奏論特別実習	4 後	1	1				
伴奏特別実習Ⅰ	4 後	1	1				
伴奏特別実習Ⅱ	4 後	1	1				
創作活動特別実習	4 後	1	1				
インターンシップ 特別実習Ⅰ	4 後	1	1				
インターンシップ 特別実習Ⅱ	4 後	1	1				
社会活動特別実習	4 後	1	1				
スコアリーディング 基礎学習Ⅰ	1 前	1					兼2
スコアリーディング 基礎学習Ⅱ	1 後	1					兼2
ピアノ構造論Ⅰ	1 前	2					兼1
ピアノ構造論Ⅱ	1 後	2					兼1
ピアノ教授法Ⅰ	2 前	2		1			兼1
ピアノ教授法Ⅱ	2 後	2		1			兼1
管弦楽法概論	2 前	2					兼1
管弦楽法研究	2 後	1					兼1
音楽形式学Ⅰ	2 前	2					兼1
音楽形式学Ⅱ	2 後	2					兼1
器楽合奏（含和楽器）ⅠⅠ	2 前	1					兼4 兼3
器楽合奏（含和楽器）ⅠⅡ	2 後	1					兼4 兼3
器楽合奏（含和楽器）ⅡⅠ	3 前	1					兼4 兼3
器楽合奏（含和楽器）ⅡⅡ	3 後	1					兼4 兼3
副科弦楽合奏ⅠⅠ	1 前	1					兼4
副科弦楽合奏ⅠⅡ	1 後	1					兼4
副科弦楽合奏ⅡⅠ	1 前	1					兼2
副科弦楽合奏ⅡⅡ	1 後	1					兼2 兼3
副科吹奏楽Ⅰ	1 前	1					兼10 兼3
副科吹奏楽Ⅱ	1 後	1					兼1
マーチング指導法Ⅰ	4 前	2					兼1
マーチング指導法Ⅱ	4 後	2					兼1
副科邦楽合奏（箏）Ⅰ	1 前	1					兼4

教育課程充実のため兼任1名を追加(25)

教育課程充実のため兼任1名を追加(25)
教職課程認定申請のため、
各科目ともオムニバス方式
の授業に変更(24)

教育課程充実のため兼任1名を追加(26)

教育課程充実のため兼任1名を追加(26)

教育課程充実のため兼任2名を追加(25)

教育課程充実のため兼任2名を追加(25)

副科邦楽合奏（箏）B	1 後	1					兼4	
副科邦楽合奏（三絃）A	1 前	1					兼2	
副科邦楽合奏（三絃）B	1 後	1					兼2	
							兼0	
副科邦楽合奏（尺八）A	1 前	1					兼1	履修希望者が少ないため開講中止(27)
							兼0	
副科邦楽合奏（尺八）B	1 後	1					兼1	履修希望者が少ないため開講中止(27)
副科邦楽合奏（胡弓）A	1 前	1					兼2	
副科邦楽合奏（胡弓）B	1 後	1					兼2	
雅楽AⅠ	1 前	1					兼1	
雅楽BⅠ	1 後	1					兼1	
雅楽AⅡ	2 前	1					兼1	
雅楽BⅡ	2 後	1					兼1	
電子オルガンAⅠ	3 前	1					兼1	
電子オルガンBⅠ	3 後	1					兼1	
電子オルガンAⅡ	4 前	1					兼1	
電子オルガンBⅡ	4 後	1					兼1	
日本伝統音楽概説	1 前	2					兼3	
諸民族の音楽	1 後	2	1				兼3	教育課程充実のため教授1名を追加(25)
歌曲作品研究A	3 前	1					兼1	
歌曲作品研究B	3 後	1					兼1	
オラトリオ研究A	3 後	1					兼1	
重唱研究A	3 前	1	1					
オラトリオ研究B	4 後	1					兼1	
重唱研究B	4 前	1					兼1	
							兼4	
							兼3	教育課程充実のため兼任1名を追加(27)
オペラ研究AⅡ	4 前	1					兼2	教育課程充実のため兼任1名を追加(26)
							兼4	
							兼3	教育課程充実のため兼任1名を追加(27)
オペラ研究BⅡ	4 後	1					兼2	教育課程充実のため兼任1名を追加(26)
歌曲研究AⅠ	3 前	1			0 +		兼2	クラス編成の変更による教員数の変更(27)
							兼3	教育課程充実のため准教授1名を配置(25)
							兼1	
歌曲研究BⅠ	3 後	1			1		兼3	クラス編成の変更による教員数の変更(27)
歌曲研究AⅡ	4 前	1					兼4	
歌曲研究BⅡ	4 後	1					兼4	
演技演習AⅢ	3 前	1					兼1	
演技演習BⅢ	3 後	1					兼1	
イタリア詩歌演習A	1 前	1					兼1	
イタリア詩歌演習B	1 後	1					兼1	
							兼0	
ドイツ詩歌演習A	3 前	1					兼1	履修希望者が少ないため開講中止(27)
							兼0	
ドイツ詩歌演習B	3 後	1					兼1	履修希望者が少ないため開講中止(27)
歌曲特別研究AⅠ	3 前	1	2				兼2	
歌曲特別研究BⅠ	3 後	1	2				兼2	
歌曲特別研究AⅡ	4 前	2					兼4	
歌曲特別研究BⅡ	4 後	2					兼4	
オペラ特別研究AⅠ	3 前	1	1					
オペラ特別研究BⅠ	3 後	1	1					
オペラ特別研究AⅡ	4 前	2	1	1			兼1	教育課程充実のため准教授1名を追加(26)
オペラ特別研究BⅡ	4 後	2	1	1			兼1	教育課程充実のため准教授1名を追加(26)
				4				教育課程充実のため兼任1名を追加(27)
				→			兼2	教育課程充実のため教授1名を追加(26)
オペラ実習A	4 前	1		→			兼1	教育課程充実のため教授1名を追加(25)
				4				教育課程充実のため兼任1名を追加(27)
				→			兼2	教育課程充実のため教授1名を追加(26)
オペラ実習B	4 後	1		→			兼1	教育課程充実のため教授1名を追加(25)
音楽通論Ⅰ	1 前	1					兼1	
音楽通論Ⅱ	1 後	1					兼1	

ドイツリート歌唱・伴奏研究AⅡ	4 前	1	2 -1		兼2	教育課程充実のため教授1名・兼任2名を追加(27)
ドイツリート歌唱・伴奏研究BⅡ	4 後	1	2 -1		兼2	教育課程充実のため教授1名・兼任2名を追加(27)
専門合奏Ⅰ	1 前	2	4 -2	1 -2	兼22 兼17	教育課程充実のため兼任5名を追加(27) 専任教員1名が准教授から教授に昇格し、 さらに教育課程充実のため教授1名を追加(26)
専門合奏Ⅱ	1 後	2	4 -2	1 -2	兼22 兼17	教育課程充実のため兼任5名を追加(27) 専任教員1名が准教授から教授に昇格し、 さらに教育課程充実のため教授1名を追加(26)
専門合奏Ⅲ	2 前	2	4 -2	1 -2	兼22 兼17	教育課程充実のため兼任5名を追加(27) 専任教員1名が准教授から教授に昇格し、 さらに教育課程充実のため教授1名を追加(26)
専門合奏Ⅳ	2 後	2	4 -2	1 -2	兼22 兼17	教育課程充実のため兼任5名を追加(27) 専任教員1名が准教授から教授に昇格し、 さらに教育課程充実のため教授1名を追加(26)
専門合奏Ⅴ	3 前	2	4 -2	1 -2	兼22 兼17	教職課程認定申請のため、 「邦楽」の授業のみ兼任教員 4名による各授業担当教員2名 のオムニバス方式に変更(24) 教育課程充実のため兼任5名を追加(27) 専任教員1名が准教授から教授に昇格し、 さらに教育課程充実のため教授1名を追加(26)
専門合奏Ⅵ	3 後	2	4 -2	1 -2	兼22 兼17	教育課程充実のため兼任5名を追加(27) 専任教員1名が准教授から教授に昇格し、 さらに教育課程充実のため教授1名を追加(26)
専門合奏Ⅶ	4 前	2	4 -2	1 -2	兼22 兼17	教育課程充実のため兼任5名を追加(27) 専任教員1名が准教授から教授に昇格し、 さらに教育課程充実のため教授1名を追加(26)
専門合奏Ⅷ	4 後	2	4 -2	1 -2	兼22 兼17	教育課程充実のため兼任5名を追加(27) 専任教員1名が准教授から教授に昇格し、 さらに教育課程充実のため教授1名を追加(26)
オーケストラⅠ	1 前	2	1	1 -2	兼7 兼5	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26) 教育課程充実のため兼任2名を追加(25)
オーケストラⅡ	1 後	2	1	1 -2	兼7 兼5	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26) 教育課程充実のため兼任2名を追加(25)
オーケストラⅢ	2 前	2	1	1 -2	兼7 兼5	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26) 教育課程充実のため兼任2名を追加(25)
オーケストラⅣ	2 後	2	1	1 -2	兼7 兼5	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26) 教育課程充実のため兼任2名を追加(25)
オーケストラⅤ	3 前	2	1	1 -2	兼7 兼5	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26) 教育課程充実のため兼任2名を追加(25)
オーケストラⅥ	3 後	2	1	1 -2	兼7 兼5	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26) 教育課程充実のため兼任2名を追加(25)
オーケストラⅦ	4 前	2	1	1 -2	兼7 兼5	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26) 教育課程充実のため兼任2名を追加(25)
オーケストラⅧ	4 後	2	1	1 -2	兼7 兼5	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26) 教育課程充実のため兼任2名を追加(25)
吹奏楽Ⅰ	1 前	2			兼1	
吹奏楽Ⅱ	1 後	2			兼1	
吹奏楽Ⅲ	2 前	2			兼1	
吹奏楽Ⅳ	2 後	2			兼1	
吹奏楽Ⅴ	3 前	2			兼1	
吹奏楽Ⅵ	3 後	2			兼1	
吹奏楽Ⅶ	4 前	2			兼1	
吹奏楽Ⅷ	4 後	2			兼1	
ウインドアンサンブルAⅠ	3 前	1			兼1	
ウインドアンサンブルBⅠ	3 後	1			兼1	
ウインドアンサンブルAⅡ	4 前	1			兼1	
ウインドアンサンブルBⅡ	4 後	1			兼1	
実用外国語研究	2 前	1			兼1	
専門特殊研究演習(ピアノ)AⅠ	3 前	1	2			
専門特殊研究演習(ピアノ)BⅠ	3 後	1	2			
専門特殊研究演習(ピアノ)AⅡ	4 前	1		1		

	専門特殊研究演習（ピアノ）ＢⅡ	4 後	1		7	1			兼1	
	専門特殊研究（ピアノ）ＡⅠ	3 前	1		6	2			兼5	担当教員1名准教授から教授に昇格のため(24)
	専門特殊研究（ピアノ）ＢⅠ	3 後	1		6	2			兼5	担当教員1名准教授から教授に昇格のため(24)
	専門特殊研究（ピアノ）ＡⅡ	4 前	1		6	2			兼5	担当教員1名准教授から教授に昇格のため(24)
	専門特殊研究（ピアノ）ＢⅡ	4 後	1		6	2			兼5	担当教員1名准教授から教授に昇格のため(24)
	専門特殊研究(弦)ＡⅠ	1 前	1		2	0				専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
	専門特殊研究(弦)ＢⅠ	1 後	1		1	1				専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
	専門特殊研究(弦)ＡⅡ	2 前	1		1	1				専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
	専門特殊研究(弦)ＢⅡ	2 後	1		1	1				専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
	専門特殊研究(弦)ＡⅢ	3 前	1		1	1				専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
	専門特殊研究(弦)ＢⅢ	3 後	1		1	1				専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
	専門特殊研究(弦)ＡⅣ	4 前	1		1	1				専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
	専門特殊研究(弦)ＢⅣ	4 後	1		1	1				専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
	室内楽Ⅰ	2 前	1		1	2			兼4	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
	室内楽Ⅱ	2 後	1		1	2			兼4	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
	室内楽Ⅲ	3 前	1		1	2			兼4	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
	室内楽Ⅳ	3 後	1		1	2			兼4	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
	室内楽Ⅴ	4 前	1		1	1			兼3	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
	室内楽Ⅵ	4 後	1		1	1			兼3	専任教員1名が准教授から教授に昇格(26)
										兼任教員3名が就任を辞退し、16名を追加(27)
										兼任教員3名が就任を辞退し、18名を追加(26)
										准教授1名が教授に就任し、
										兼任1名が准教授に就任(26)
										兼任教員1名を准教授として採用(25)
										平成24年度記入ミスのため、
										助教1名を2名に修正(25)
	小計(443科目)			560	24	6	0		兼217	上記の助教2名が准教授に昇格(25)
	小計(436科目)			553	23	3	2		兼204	准教授1名急な退職及び教員1名准教授から教授に昇格のため(24)
	小計(430科目)	-	0	547	22	5	0	1	兼190	
									兼194	
一般 教育 科目	教養基礎セミナー	1 前	1		6		0		兼3	オムニバス授業の充実のため、教授2名・兼任1名を追加(27)
	文学A	1 前		2	4	2	1		兼2	教育課程充実のため教授1名・兼任1名を追加(26)
	文学B	1 後		2					兼1	担当教員1名助教から准教授に昇格のため(25)
	哲学A	1 前		2	1				兼1	教育課程充実のため准教授1名を追加(25)
	哲学B	1 後		2	1				兼1	
	日本国憲法A	1 前		2					兼2	兼任教員1名が退職のため(27)
	日本国憲法B	1 後		2					兼1	教育課程充実のため兼任1名を追加(25)
	西洋史A	1 前		2	1				兼2	兼任教員1名が退職のため(27)
	西洋史B	1 後		2	1				兼1	教育課程充実のため兼任1名を追加(25)
									兼0	兼任教員1名が就任辞退のため教授1名を配置(26)
									兼0	兼任教員1名が就任辞退のため教授1名を配置(26)

	心理学 A	1 前		2				0	兼1	助教1名が退職し、兼任となったため(25)
	心理学 B	1 後		2				+	兼1	助教1名が退職し、兼任となったため(25)
	音響学 A	1 前		2	1			+		
	音響学 B	1 後		2	1					
	日本語ライティング A	1 前		1				0	兼1	助教1名が退職し兼任となったため(25)
	日本語ライティング B	1 後		1				+	兼1	助教1名が退職し兼任となったため(25)
	クリティカル・シンキング A	1 前 未開講		1					兼1	履修希望者が基準に達したため開講(26) 履修希望者がいなかったため(24)
	クリティカル・シンキング B	1 後		1					兼1	
	音楽活動ポートフォリオ入門	2 前		1				1 +	兼1 兼0 兼1	教育課程充実のため兼任教員1名を追加(27) 担当教員を兼任から助教に変更(26) (平成26年度記載ミスのため平成27年度追記) 助教1名が退職し兼任となったため(25)
	音楽活動ポートフォリオ演習	2 後		1				1 +	兼1 兼0 兼1	教育課程充実のため兼任教員1名を追加(27) 担当教員を兼任から助教に変更(26) (平成26年度記載ミスのため平成27年度追記) 助教1名が退職し兼任となったため(25)
	情報処理概論 A	3 前 未開講		2	1				兼2	履修希望者が基準に達したため開講(27) 履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため(26)
	情報処理概論 B	3 前 未開講		2	1	2			兼2	履修希望者が基準に達したため開講(27) 履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため(26)
	時事問題ステーション	3 前		2		+				教育課程充実のため教授1名を追加(25)
	文化とオペラ A	1 前		2	2 +	1		0 +	兼4 兼2 兼3 兼2	オムニバス講義における担当教員の変更(27) 兼任教員1名が就任辞退のため(26) 担当教員1名助教から准教授に昇格のため(25) 助教1名が退職し兼任となったため(25)
	文化とオペラ B	1 後		2	2 +	1		0 +	兼4 兼2 兼3 兼2	オムニバス講義における担当教員の変更(27) 兼任教員1名が就任辞退のため(26) 担当教員1名助教から准教授に昇格のため(25) 助教1名が退職し兼任となったため(25)
	小計(24科目)	-	1	40	0	6	3 +	0 +	兼9 兼8 兼9 兼7	助教1名が就任(27) 兼任教員2名が就任を辞退し、3名を追加(27) 兼任教員1名が就任辞退のため(26) 教育課程充実のため准教授2名を追加(25) 教員1名助教から准教授に昇格のため(25) 助教1名が退職し兼任となったため(25)
保健 体育 科目	体育 A	1 前	1						兼2	
	体育 B	1 後	1						兼2	
	小計(2科目)	-	2	0	0	0	0	0	兼2	—
外国語科目	英語 A I	1 前		1		1			兼2	
	英語 A II	1 後		1		1			兼2	
	英語 A III	2 前		1		1			兼2	教育課程充実のため教授1名を配置(25)
	英語 A IV	2 後		1		1			兼2	教育課程充実のため教授1名を配置(25)
	英語 B I	1 前		1		1			兼3 兼1 兼2	兼任教員1名が就任辞退のため(26) 教育課程充実のため兼任2名を追加(25)
	英語 B II	1 後		1		1			兼3 兼1	兼任教員1名が就任辞退のため(26) 教育課程充実のため兼任2名を追加(25)

ドイツ語 C I	2 前	1					兼1	
ドイツ語 C II	2 後	1					兼1	
							兼1	
							兼2	履修希望者数に応じたクラス数の削減 (27)
ドイツ語 C III	3 前	1					兼1	教育課程充実のため兼任1名を追加 (25)
							兼0	
							兼2	履修希望者が少ないため開講中止 (27)
ドイツ語 C IV	3 後	1					兼1	教育課程充実のため兼任1名を追加 (25)
							兼2	
フランス語 C I	2 前	1					兼1	教育課程充実のため兼任1名を追加 (25)
							兼2	
フランス語 C II	2 後	1					兼1	教育課程充実のため兼任1名を追加 (25)
							兼0	
フランス語 C III	3 前	1					兼1	履修希望者が少ないため開講中止 (27)
							兼0	
フランス語 C IV	3 後	1					兼1	履修希望者が少ないため開講中止 (27)
							兼0	履修希望者数に応じ、教授1名により開講した (27)
イタリア語 C I	2 前	1	1				兼1	教育課程充実のため教授1名を追加 (25)
							兼0	履修希望者数に応じ、教授1名により開講した (27)
イタリア語 C II	2 後	1	1				兼1	教育課程充実のため教授1名を追加 (25)
							兼0	
							兼1	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (27)
イタリア語 C III	未開講 3 前						兼1	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (26)
							兼0	
							兼1	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (27)
イタリア語 C IV	未開講 3 後						兼1	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (26)
							兼0	
							兼1	履修希望者が基準に達したため開講 (27)
応用外国語 (英語) A I	未開講 3 前	1					兼2	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (26)
							兼1	履修希望者が基準に達したため開講 (27)
							兼2	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (26)
応用外国語 (英語) A II	未開講 3 後	1					兼1	履修希望者が基準に達したため開講 (27)
							兼2	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (26)
応用外国語 (ドイツ語) A I	3 前	1					兼1	
応用外国語 (ドイツ語) A II	3 後	1					兼1	
							兼0	
							兼2	履修希望者が少ないため開講中止 (27)
応用外国語 (フランス語) A I	3 前	1					兼1	教育課程充実のため兼任1名を追加 (25)
							兼0	
							兼2	履修希望者が少ないため開講中止 (27)
応用外国語 (フランス語) A II	3 後	1					兼1	教育課程充実のため兼任1名を追加 (25)
							兼0	
							兼1	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (27)
応用外国語 (イタリア語) A I	未開講 3 前	1					兼1	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (26)
							兼0	
							兼1	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (27)
応用外国語 (イタリア語) A II	未開講 3 後	1					兼1	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (26)
							兼1	
							兼2	履修希望者数に応じたクラス数の削減 (27)
応用外国語 (英語) B I	3 前	1					兼1	教育課程充実のため兼任1名を追加 (25)
							兼1	
							兼2	履修希望者数に応じたクラス数の削減 (27)
応用外国語 (英語) B II	3 後	1					兼1	教育課程充実のため兼任1名を追加 (25)
応用外国語 (ドイツ語) B I	3 前	1					兼1	
応用外国語 (ドイツ語) B II	3 後	1					兼1	
							兼0	
							兼1	履修希望者が基準に達したため開講 (27)
							兼2	履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (26)
応用外国語 (フランス語) B I	未開講 3 前	1					兼1	教育課程充実のため兼任1名を追加 (25)

	応用外国語（フランス語）BⅡ	3 後 未開講 3 後		1						兼1 兼2 兼1	履修希望者が基準に達したため開講(27) 履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため(26) 教育課程充実のため兼任1名を追加(25)
	応用外国語（イタリア語）BⅠ	3 後 未開講 3 前		1		1					履修希望者が基準に達したため開講(27) 履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため(26)
	応用外国語（イタリア語）BⅡ	3 後 未開講 3 後		1		1					履修希望者が基準に達したため開講(27) 履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため(26)
	英語コミュニケーションA	3 前		1						兼1	
	英語コミュニケーションB	3 後		1						兼1	
	ドイツ語コミュニケーションA	3 後 未開講 3 前		1						兼1	履修希望者が基準に達したため開講(27) 履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため(26)
	ドイツ語コミュニケーションB	3 後 未開講 3 後		1						兼1	履修希望者が基準に達したため開講(27) 履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため(26)
	フランス語コミュニケーションA	3 前		1						兼0 兼1 兼0 兼1	就任予定者の辞退により開講中止、後任未定。(27) 兼任教員1名を配置(26) 兼任教員1名退職。後任未定。 教員採用の上、平成26年度開講予定(25)
	フランス語コミュニケーションB	3 後		1						兼0 兼1 兼0 兼1	就任予定者の辞退により開講中止、後任未定。(27) 兼任教員1名を配置(26) 兼任教員1名退職。後任未定。 教員採用の上、平成26年度開講予定(25)
	イタリア語コミュニケーションA	3 前		1						兼0 兼1 兼0 兼1	履修希望者が少ないため開講中止(27)
	イタリア語コミュニケーションB	3 後		1						兼0 兼1 兼0 兼1	履修希望者が少ないため開講中止(27)
	海外提携校外国語実習Ⅰ	4 後		1		1					
	海外提携校外国語実習Ⅱ	4 後		1		1					
	海外提携校外国語実習Ⅲ	4 後		1		1					
	海外提携校外国語実習Ⅳ	4 後		1		1					
	小計（76科目）	-	0	76	0	2	0	0	0	兼22 兼24 兼26 兼29	兼任教員2名が就任を辞退(27) 兼任教員4名が就任を辞退し、 2名を追加した(26)
教職に関する科目	教職入門Ⅰ	2 前			1	2 +	1			兼2 兼1	兼任教員1名が教授に就任し、担当科目を追加(27) 教育課程充実のため兼任1名を追加(26) 教職課程認定申請のため、兼任教員1名を追加、 オムニバス方式の授業に変更(24)
	教職入門Ⅱ	2 後			1	2 +	1			兼3 兼1	兼任教員1名が教授に就任し、担当科目を追加(27) 教育課程充実のため兼任2名を追加(26) 教職課程認定申請のため、オムニバス方式 の授業に変更(24)
	教育学概論Ⅰ	2 前			2	1				兼1 兼1	教職課程認定申請のため、各授業に 兼任教員1名を追加、オムニバス方式 の授業に変更(24)
	教育学概論Ⅱ	2 後			2	1					
	教育心理学	2 前			2					兼1 兼1	教職課程認定申請のため、兼任教員を1名追加(24)
	青年心理学	3 後			2						
	教育課程論	2 後			2					兼1 兼1	教職課程認定申請のため、科目を追加(24)
	音楽科指導法Ⅰ	3 前			2		1				
	音楽科指導法Ⅱ	3 後			2	1	1			兼1	兼任教員1名が教授に就任し、担当科目を追加(27) 教職課程認定申請のため、オムニバス方式 の授業に変更(24)
	音楽科指導法A（合唱）										
	音楽科教材研究A（合唱指導法）	3 後			2		1				教職課程認定申請のため、科目名称を変更(24)

音楽科教材研究A（ギター指導法）	3 後			-2					兼1	教職課程認定申請のため、科目削除 (24)	
音楽科教材研究A（リコーダー指導法）	3 後			-2					兼1	教職課程認定申請のため、科目削除 (24)	
音楽科教材研究A（邦楽指導法）	3 後			-2					兼1		
音楽科指導法A（創作）											
音楽科教材研究A（創作指導法）	3 後			2					兼1	教職課程認定申請のため、科目名称を変更 (24)	
音楽科指導法B（合唱）											
音楽科教材研究B（合唱指導法）	4 前			2		1				教職課程認定申請のため、科目名称を変更 (24)	
音楽科教材研究B（ギター指導法）	4 前			-2					兼1	教職課程認定申請のため、科目削除 (24)	
音楽科教材研究B（リコーダー指導法）	4 前			-2					兼1	教職課程認定申請のため、科目削除 (24)	
音楽科教材研究B（邦楽指導法）	4 前			-2					兼1	教職課程認定申請のため、科目削除 (24)	
音楽科指導法B（創作）										担当教員が兼任から教授に就任 (27)	
音楽科教材研究B（創作指導法）	4 前			2	1				兼1	教職課程認定申請のため、科目名称を変更 (24)	
特別活動の指導法					2					兼任教員1名が教授に就任し、担当科目を追加 (27)	
特別活動の研究	4 前			1	+	1			兼1	教職課程認定申請のため、科目名称を変更 及び担当教員1名が就任辞退 (24)	
道徳教育論	3 後			2					兼1	教職課程認定申請のため、兼任教員を1名追加 (24)	
教育方法論	2 後			2					兼2	教職課程認定申請のため、オムニバス方式 の授業に変更 (24)	
生徒指導論Ⅰ（教育相談を含む。）	3 前			2					兼1	教職課程認定申請のため、兼任教員1 名を追加、オムニバス方式の授業に変 更 (24)	
生徒指導論Ⅱ（進路指導を含む。）	4 前			2	1					教職課程認定申請のため、兼任教員1 名を追加、オムニバス方式の授業に変 更 (24)	
教育実習の指導					2					兼任教員1名が教授に就任し、担当科目を追加 (27)	
教育実習の研究	4 前			1	+	1			兼1	教職課程認定申請のため、兼任教員1名を 追加し、科目名称を変更 (24)	
教育実習A	4 前			2	1						
教育実習B	4 前			2	1						
教育実習	4 前			+	+					教職課程認定申請のため、科目名称を変更し 科目を追加、教員を配置 (24)	
教職実践演習（中・高）	4 後			2	+	1			兼4 兼5 兼1	兼任教員1名が教授に就任したことによる変更 (27) 4名 教職課程認定申請のため、兼任教員を5名追加 (24) (平成24年度記入ミスのため平成26年度追記)	
教育学特論	3 前 未開講			2	1					履修希望者が基準に達したため開講 (27) 履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (26)	
同和教育論	3 前 未開講			2					兼1	履修希望者が基準に達したため開講 (27) 履修希望者が少なく、開講条件に達しなかったため (26)	
小計（24科目）				44	2				兼9 兼10	兼任教員1名が教授に就任 (27)	
小計（28科目）	-	0	0	-54	+	1	0	0	0	兼9	—
合計（681科目）					29				兼280	助教1名が就任し、兼任教員1名が教授に	
合計（674科目）			1012		-28	7		1	兼263	就任した。また、兼任教員8名が就任を	
合計（668科目）			1005	44	-27	-4		-0	兼243	辞退し、25名を追加した (27)	
合計（672科目）	-	12	999	-54	-26	-6	0	-3	0	兼249	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
○ ○ 科 目	○○○○○○○○○ [平成27年度から配当年次を変更 する場合の記入例] ○○○○○○○○○	1 前 2 前 1 後	4								兼 1	○○の理由により、配当年度を 変更 (27)	
				2			1		1				
○ ○ 科 目	[平成24年度に未開講で、 平成25年度に開講する場合 の記入例] ○○○○○○○○○ [平成27年度から科目を追加する 場合の記入例] ○○○○○○○○○	1 後 未開講 1 後 1 後		2		1						通常開講 (25) 履修希望者がいなかったため (24) ××の理由により、科目を追加 (27) 〔 担当 ○○○○ (准教授) 平成26年1月 教員審査済 判 定 可 △△の理由により、教員を追加 (27) 〔 担当 ○○○○ (准教授) 平成26年10月 教員審査済 判 定 可	
		[平成27年度から専任教員を追加 する場合の記入例] ○○○○○○○○○	2 後	2			2 1		1				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号 (その2の1) に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て (兼任、兼担教員が担当する科目を含む。) を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時 (平成27年度に認可された大学等は設置認可時) より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等 (平成19年度認可以前) についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 7	科目 637	科目 28	科目 672	科目 7	科目 650-643	科目 24	科目 681-674	
				[-]	[13][6]	[△4]	[9][2]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する (資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。) とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	情報処理概論A	2	3前	一般	選択	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため
2	情報処理概論B	2	3後	一般	選択	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため
1-3	イタリア語CⅢ	1	3前	外国語	選択	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため
2-4	イタリア語CⅣ	1	3後	外国語	選択	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため
5	ドイツ語コミュニケーションA	1	3前	外国語	選択	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため
6	ドイツ語コミュニケーションB	1	3後	外国語	選択	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため
3-7	応用外国語(イタリア語)AⅠ	1	3前	外国語	選択	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため
4-8	応用外国語(イタリア語)AⅡ	1	3後	外国語	選択	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため
9	応用外国語(英語)AⅠ	1	3前	外国語	選択	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため
10	応用外国語(英語)AⅡ	1	3後	外国語	選択	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため
11	応用外国語(イタリア語)BⅠ	1	3前	外国語	選択	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため
12	応用外国語(イタリア語)BⅡ	1	3後	外国語	選択	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため
13	同和教育論	2	3前	教職	自由	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため
14	教育学特論	2	3後	教職	自由	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため
5	民族音楽演奏演習AⅣ	1	4前	外国語	選択	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため
6	民族音楽演奏演習BⅣ	1	4後	外国語	選択	履修希望者が少なく、本学の授業開講条件人数に達しなかったため

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	音楽科教材研究A(ギター指導法)	2	3後	専門	選択	教職課程認定申請のため、科目を削除する
2	音楽科教材研究A(リコーダー指導法)	2	3後	専門	選択	教職課程認定申請のため、科目を削除する
3	音楽科教材研究A(邦楽指導法)	2	3後	専門	選択	教職課程認定申請のため、科目を削除する
4	音楽科教材研究B(ギター指導法)	2	4前	専門	選択	教職課程認定申請のため、科目を削除する
5	音楽科教材研究B(リコーダー指導法)	2	4前	専門	選択	教職課程認定申請のため、科目を削除する
6	音楽科教材研究B(邦楽指導法)	2	4前	専門	選択	教職課程認定申請のため、科目を削除する
7	教育実習	4	4前	専門	選択	教職課程認定申請のため、科目を削除する

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学内規程により、受講者数が開講基準に満たないクラスについて未開講とした。受講希望学生に対しては、Webを通じて直接連絡を取り、個別に受講相談に応じ、代替授業の調整を行った。

廃止科目は選択科目であり、かつ対象学生の入学以前の廃止となるため、直接的な影響はないと考える。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}}$	=	0.01 0.03
---	---	-------------------------------------

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3. 施設・設備の整備状況、経費

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地			
	校 舎 敷 地	0㎡	21,105 21,096㎡	0㎡	21,105 21,096㎡				
	運動場用地	0㎡	40,597 40,632㎡	0㎡	40,597 40,632㎡				
	小 計	0㎡	61,702 61,728㎡	0㎡	61,702 61,728㎡				
	そ の 他	0㎡	6,080㎡	0㎡	6,080㎡				
	合 計	0㎡	67,782 67,808㎡	0㎡	67,782 67,808㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地				
	0㎡	38,318㎡	0㎡	38,318㎡					
		(0㎡)	(38,318㎡)	(0㎡)	(38,318㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処学习習施設	語学学習施設	平成23年度末に講義室2室を演習室に変更した。(24)			
	34 36室	53 54室	286室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数	退職した教員の研究室を教育改善事業の専用室等に変更した。(26) 兼任教員1名が教授に就任したため研究室を追加。(27)			
		音楽学部音楽学科			37 36 39 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	開設時の冊数は実数を記載。また、視聴覚資料は約2,000点が未登録のため。(24) 平成24年度中の除籍及び学術雑誌購入の見直しにより冊数・種数が減少。(25) 前年度に続き、除籍により図書の冊数が減少。(26) 前年度に続き、除籍により図書の冊数が減少。(27)	
	音楽学部音楽学科	139,000 [68,500] (127,682[64,904]) (135,443 [66,040]) (135,607 [66,468]) (135,000 [66,500])	220 [65] (189[44]) (201[42]) (195 [45]) (210 [45]) (213 [61])	5 [2] (1 [1])	59,000 (54,686) (54,313) (53,746) (52,862) (55,000)	80 (80)	0 (0)		
	計	139,000 [68,500] (127,682[64,904]) (135,443 [66,040]) (135,607 [66,468]) (135,000 [66,500])	220 [65] (189[44]) (201[42]) (195 [45]) (210 [45]) (213 [61])	5 [2] (1 [1])	59,000 (54,686) (54,313) (53,746) (52,862) (55,000)	80 (80)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			書架の追加による冊数の増加(26) 書架の追加による冊数の増加(27)	
	912.54㎡		186		135,075 134,475 134,278				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,615.03㎡		該 当 な し						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究費は共同研究の可能性のあるものを共同研究費に片寄せた。(24) 図書購入費、設備購入費は平成23年度決算に基づいて再計算した。(24) 図書購入費、設備購入費は平成24年度決算に基づいて再計算した。(25) 永井幸次記念講堂における設備更新のため設備費を増額した。図書購入費は平成27年度予算。(27)
		教員1人当り研究費等	260千円	260千円	図書購入費	4,890千円 4,706千円	4,340千円 4,565千円 4,320千円 4,163千円	4,329千円 4,212千円	
		共同研究費等	840千円	840千円	設備購入費	25,510千円 25,034千円	24,440千円 24,283千円 24,430千円 22,162千円	23,488千円 32,269千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		2,380千円	1,980千円	1,980千円	1,980千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4. 既設大学等の状況

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		大阪音楽大学大学院							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
音楽研究科	年	人	年次 人	人		倍		大阪府豊中市 庄内幸町1丁目 1番8号	
作曲専攻	2	2	—	4	修士（音楽）	0.50	昭和43年		
声楽専攻	2	4	—	8	修士（音楽）	2.00	昭和43年		
器楽専攻	2	7	—	14	修士（音楽）	1.28	昭和43年		
大 学 の 名 称		大阪音楽大学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	AC対象学科 平成24年より学生募集停止 平成24年より学生募集停止 平成24年より学生募集停止
音楽学部	年	人	年次	人		倍		大阪府豊中市 庄内幸町1丁目 1番8号	
音楽学科	4	210	3年次 30	900	学士（音楽）	0.81	平成24年		
作曲学科	4	—	—	—	学士（音楽）	—	昭和33年		
声楽学科	4	—	—	—	学士（音楽）	—	昭和33年		
器楽学科	4	—	—	—	学士（音楽）	—	昭和33年		
大 学 の 名 称		大阪音楽大学短期大学部							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
音楽科	2	150	年次 人	300	短期大学士 （音楽）	0.75	昭和26年	大阪府豊中市 庄内幸町1丁目 1番8号	

- （注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5. 教員組織の状況

5 教員組織の状況

<音楽学部 音楽学科>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授 (副学 長)	武藤 好男 (61)	平成24年 4月	作曲Ⅰ 作曲Ⅱ 作曲Ⅲ 作曲Ⅳ 作曲Ⅴ 作曲Ⅵ 作曲Ⅶ 作曲Ⅷ 作曲理論Ⅰ 作曲理論Ⅱ 作曲理論Ⅲ 作曲理論Ⅳ 楽曲分析AⅢ 楽曲分析BⅢ		教授 (学 長)				平成24年4月 中村孝義学長の任期満了に伴 う学長選挙の結果、学長に選 出・就任(24)
専任	教授 (学 長)	中村 孝義 (64)	平成24年 4月	音楽美学A 音楽美学B メディア産業 と音楽 音楽マネジメ ント実践演習 音楽ホール運 営論 音楽ホール運 営実践演習		教授			音楽美学A 音楽美学B メディア産業 と音楽 音楽マネジメ ント実践演習	平成24年3月 任期満了に伴い学長退任(24)
						准教授	西村 理 (42)		音楽ホール運 営論 音楽ホール運 営実践演習	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の変更(27)
専任	助教	西村 理 (39)	平成24年 4月	音楽学演習B Ⅰ 音楽学演習A Ⅱ 西洋音楽史概 説A 西洋音楽史概 説B 音楽基礎セミ ナー 教養基礎セミ ナー 文化とオペラ A ※ 文化とオペラ B ※					音楽学演習B Ⅰ 音楽学演習A Ⅱ 西洋音楽史概 説A 西洋音楽史概 説B 音楽基礎セミ ナー 教養基礎セミ ナー 文化とオペラ A ※ 文化とオペラ B ※	平成25年4月 准教授に昇格(25)

専任	教授 (オペラ ハウス館 長)	荒田 祐子 (54)	平成24年 4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ 声楽基礎演習 AⅠ 声楽基礎演習 BⅠ 歌曲特別研究 AⅠ 歌曲特別研究 BⅠ				声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ 声楽基礎演習 AⅠ 声楽基礎演習 BⅠ 歌曲特別研究 AⅠ 歌曲特別研究 BⅠ オペラ実習A オペラ実習B	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
専任	教授	浅井 康子 (63)	平成24年 4月	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ ピアノ演習 特 BⅡ ピアノ演習 特 AⅢ ピアノ演習 特 BⅢ 声楽伴奏法A 声楽伴奏法B ピアノアンサ ンブルAⅠ ピアノアンサ ンブルBⅠ ドイツリート 歌唱・伴奏研 究AⅠ ドイツリート 歌唱・伴奏研 究BⅠ 専門特殊研究 (ピアノ) A Ⅰ 専門特殊研究 (ピアノ) B Ⅰ 専門特殊研究 (ピアノ) A Ⅱ 専門特殊研究 (ピアノ) B Ⅱ 教養基礎セミ ナー 卒業作品又は 卒業研究又は 卒業演奏				ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ ピアノ演習 特 BⅡ ピアノ演習 特 AⅢ ピアノ演習 特 BⅢ 声楽伴奏法A 声楽伴奏法B ピアノアンサ ンブルAⅠ ピアノアンサ ンブルBⅠ ドイツリート 歌唱・伴奏研 究AⅠ ドイツリート 歌唱・伴奏研 究BⅠ ドイツリート 歌唱・伴奏研 究AⅡ ドイツリート 歌唱・伴奏研 究BⅡ 専門特殊研究 (ピアノ) A Ⅰ 専門特殊研究 (ピアノ) B Ⅰ 専門特殊研究 (ピアノ) A Ⅱ 専門特殊研究 (ピアノ) B Ⅱ 教養基礎セミ ナー 卒業作品又は 卒業研究又は 卒業演奏	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)

専任	教授	出戸 由記子 (64)	平成24年 4月	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ ピアノ演習 特 BⅡ ピアノ演習 特 AⅢ ピアノ演習 特 BⅢ 声楽伴奏法A 声楽伴奏法B ピアノアンサ ンブルAⅠ ピアノアンサ ンブルBⅠ ドイツリート 歌唱・伴奏研 究AⅠ ドイツリート 歌唱・伴奏研 究BⅠ 専門特殊研究 (ピアノ) A I 専門特殊研究 (ピアノ) B I 専門特殊研究 (ピアノ) A II 専門特殊研究 (ピアノ) B II 教養基礎セミ ナー 卒業作品又は 卒業研究又は 卒業演奏				ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ ピアノ演習 特 BⅡ ピアノ演習 特 AⅢ ピアノ演習 特 BⅢ 声楽伴奏法A 声楽伴奏法B ピアノアンサ ンブルAⅠ ピアノアンサ ンブルBⅠ ドイツリート 歌唱・伴奏研 究AⅠ ドイツリート 歌唱・伴奏研 究BⅠ 専門特殊研究 (ピアノ) A I 専門特殊研究 (ピアノ) B I 専門特殊研究 (ピアノ) A II 専門特殊研究 (ピアノ) B II 教養基礎セミ ナー 卒業作品又は 卒業研究又は 卒業演奏 ピアノ指導法 I B	教育課程充実のための科目の 追加(26)
----	----	----------------	-------------	---	--	--	--	--	-------------------------

専任	教授	松本 昌敏 (43)	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ ピアノ基礎講 座A ピアノ基礎講 座B ピアノ演習 特 AⅠ 副科鍵盤楽器 Ⅰ 副科鍵盤楽器 Ⅱ 副科鍵盤楽器 Ⅲ 副科鍵盤楽器 Ⅳ 副科鍵盤楽器 Ⅴ 副科鍵盤楽器 Ⅵ 副科鍵盤楽器 Ⅶ 副科鍵盤楽器 Ⅷ 初見視奏 ピアノアンサ ンプルAⅢ ピアノアンサ ンプルBⅢ ピアノ演奏法 AⅡ ピアノ演奏法 BⅡ 専門特殊研究 (ピアノ) A Ⅰ 専門特殊研究 (ピアノ) B Ⅰ 専門特殊研究 (ピアノ) A Ⅱ 専門特殊研究 (ピアノ) B Ⅱ				ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ ピアノ基礎講 座A ピアノ基礎講 座B ピアノ演習 特 AⅠ 副科鍵盤楽器 Ⅰ 副科鍵盤楽器 Ⅱ 副科鍵盤楽器 Ⅲ 副科鍵盤楽器 Ⅳ 副科鍵盤楽器 Ⅴ 副科鍵盤楽器 Ⅵ 副科鍵盤楽器 Ⅶ 副科鍵盤楽器 Ⅷ 初見視奏 ピアノアンサ ンプルAⅢ ピアノアンサ ンプルBⅢ ピアノ演奏法 AⅡ ピアノ演奏法 BⅡ 専門特殊研究 (ピアノ) A Ⅰ 専門特殊研究 (ピアノ) B Ⅰ 専門特殊研究 (ピアノ) A Ⅱ 専門特殊研究 (ピアノ) B Ⅱ 初見試奏Ⅱ	教育課程充実のための科目の 追加(26)
----	----	---------------	---	--	--	--	--	-------------------------

専任	教授	油井 美加子 (47)	平成24年 4月	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ ピアノ基礎演 習A ピアノ基礎演 習B ピアノ演習 特 AⅡ ピアノ演習 特 AⅣ ピアノ演習 特 BⅣ 副科鍵盤楽器 Ⅰ 副科鍵盤楽器 Ⅱ 副科鍵盤楽器 Ⅲ 副科鍵盤楽器 Ⅳ 副科鍵盤楽器 Ⅴ 副科鍵盤楽器 Ⅵ 副科鍵盤楽器 Ⅶ 副科鍵盤楽器 Ⅷ ピアノ演奏法 AⅠ ピアノ演奏法 BⅠ 専門特殊研究 演習（ピア ノ）AⅠ 専門特殊研究 演習（ピア ノ）BⅠ				ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ ピアノ基礎演 習A ピアノ基礎演 習B ピアノ演習 特 AⅡ ピアノ演習 特 AⅣ ピアノ演習 特 BⅣ 副科鍵盤楽器 Ⅰ 副科鍵盤楽器 Ⅱ 副科鍵盤楽器 Ⅲ 副科鍵盤楽器 Ⅳ 副科鍵盤楽器 Ⅴ 副科鍵盤楽器 Ⅵ 副科鍵盤楽器 Ⅶ 副科鍵盤楽器 Ⅷ ピアノ演奏法 AⅠ ピアノ演奏法 BⅠ ドイツリート 歌唱・伴奏研 究AⅠ ドイツリート 歌唱・伴奏研 究BⅠ 専門特殊研究 演習（ピア ノ）AⅠ 専門特殊研究 演習（ピア ノ）BⅠ	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
専任	教授	里井 宏次 (64)						合唱AⅠ 合唱BⅠ 合唱AⅡ 合唱BⅡ 合唱AⅢ 合唱BⅣ 合唱C 合唱D	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(27)

専任	教授	住谷秀夫 (59)	平成24年 4月					舞台論特別実習 演奏論特別実習 伴奏特別実習Ⅰ 伴奏特別実習Ⅱ 創作活動特別実習 インターンシップ特別実習Ⅰ インターンシップ特別実習Ⅱ 社会活動特別実習 教養基礎セミナー 音響学A 音響学B 情報処理概論A 情報処理概論B 時事問題ステーション 文化とオペラA ※ 文化とオペラB ※ 音楽基礎セミナー	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(27)
専任	教授 (政策企画本部・担当部長)	山下 豊 (52)	平成24年 4月	哲学A 哲学B				哲学A 哲学B 時事問題ステーション 西洋史A 西洋史B	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25) 平成26年3月 米本雅一講師退職のため 平成26年度より科目を 追加(26)
専任	教授	中山 喜満 (44)	平成24年 4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語BⅠ 英語BⅡ 海外提携校外 国語実習Ⅰ 海外提携校外 国語実習Ⅱ 海外提携校外 国語実習Ⅲ 海外提携校外 国語実習Ⅳ				文化とオペラB 英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 海外提携校外 国語実習Ⅰ 海外提携校外 国語実習Ⅱ 海外提携校外 国語実習Ⅲ 海外提携校外 国語実習Ⅳ	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
専任	教授	谷口 真生子 (53)	平成24年 4月	文化とオペラA ※ 文化とオペラB ※ イタリア語AⅠ イタリア語AⅡ イタリア語AⅢ イタリア語AⅣ イタリア語BⅠ イタリア語BⅡ イタリア語BⅢ イタリア語BⅣ 応用外国語 (イタリア語)BⅠ 応用外国語 (イタリア語)BⅡ				文化とオペラA ※ 文化とオペラB ※ イタリア語AⅠ イタリア語AⅡ イタリア語AⅢ イタリア語AⅣ イタリア語BⅠ イタリア語BⅡ イタリア語BⅢ イタリア語BⅣ イタリア語CⅠ イタリア語CⅡ 応用外国語 (イタリア語)BⅠ 応用外国語 (イタリア語)BⅡ	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)

専任	教授	藤本 敦夫 (52)	平成24年 4月	教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 教育学概論Ⅰ 教育学概論Ⅱ 特別活動の研究 生徒指導論Ⅱ (進路指導を含む。) 教育実習の研究 教育実習 教職実践演習 (中・高) 教育学特論				教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 教育学概論Ⅰ 教育学概論Ⅱ 生徒指導論Ⅱ (進路指導を含む。) 教育実習の指導 教育実習 A 教育実習 B 教職実践演習 (中・高) 教育学特論	平24年3月 教職課程認定申請のため、 「特別活動の指導法」担当を 辞退(24) [「特別活動の指導」は、他に担当教員が2名 いるため支障はない。] 教職課程認定申請のため、一 部科目名称の変更をおこな い、また、科目のクラス分け をおこなった (24)
専任	准教授	芹澤 佳司 (42)	平成24年 4月	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ ピアノ 特AⅠ ピアノ 特AⅡ ピアノ 特AⅢ ピアノ 特AⅣ ピアノ 特AⅤ ピアノ 特AⅥ ピアノ 特AⅦ ピアノ 特AⅧ ピアノ基礎演 習 A ピアノ基礎演 習 B 器楽アンサン ブル A 器楽アンサン ブル B 専門特殊研究 (ピアノ) A Ⅰ 専門特殊研究 (ピアノ) B Ⅰ 専門特殊研究 (ピアノ) A Ⅱ 専門特殊研究 (ピアノ) B Ⅱ	教授				平成24年4月 教授に昇格(24)

専任	准教授	土井 緑 (45)	平成24年 4月	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ 副科鍵盤楽器 Ⅰ 副科鍵盤楽器 Ⅱ 副科鍵盤楽器 Ⅲ 副科鍵盤楽器 Ⅳ 副科鍵盤楽器 Ⅴ 副科鍵盤楽器 Ⅵ 副科鍵盤楽器 Ⅶ 副科鍵盤楽器 Ⅷ ピアノ教授法 A ピアノ教授法 B ピアノアンサ ンプルAⅡ ピアノアンサ ンプルBⅡ ピアノ演奏法 AⅠ ピアノ演奏法 BⅠ 専門特殊研究 演習（ピア ノ）AⅡ 専門特殊研究 （ピアノ）A Ⅰ 専門特殊研究 （ピアノ）B Ⅰ 専門特殊研究 （ピアノ）A Ⅱ 専門特殊研究 （ピアノ）B Ⅱ				ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ ピアノ演習特 BⅡ 副科鍵盤楽器 Ⅰ 副科鍵盤楽器 Ⅱ 副科鍵盤楽器 Ⅲ 副科鍵盤楽器 Ⅳ 副科鍵盤楽器 Ⅴ 副科鍵盤楽器 Ⅵ 副科鍵盤楽器 Ⅶ 副科鍵盤楽器 Ⅷ ピアノ教授法 A ピアノ教授法 B ピアノアンサ ンプルAⅡ ピアノアンサ ンプルBⅡ ピアノ演奏法 AⅠ ピアノ演奏法 BⅠ 専門特殊研究 演習（ピア ノ）AⅡ 専門特殊研究 （ピアノ）A Ⅰ 専門特殊研究 （ピアノ）B Ⅰ 専門特殊研究 （ピアノ）A Ⅱ 専門特殊研究 （ピアノ）B Ⅱ 教養基礎セミ ナー	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
----	-----	--------------	-------------	---	--	--	--	---	--

専任	准教授	上塚 憲一 (54)	平成24年 4月	弦楽器Ⅰ 弦楽器Ⅱ 弦楽器Ⅲ 弦楽器Ⅳ 弦楽器Ⅴ 弦楽器Ⅵ 弦楽器Ⅶ 弦楽器Ⅷ 室内楽(鍵盤と 弦)Ⅰ 室内楽(鍵盤と 弦)Ⅱ 専門合奏Ⅰ 専門合奏Ⅱ 専門合奏Ⅲ 専門合奏Ⅳ 専門合奏Ⅴ 専門合奏Ⅵ 専門合奏Ⅶ 専門合奏Ⅷ オーケストラ Ⅰ オーケストラ Ⅱ オーケストラ Ⅲ オーケストラ Ⅳ オーケストラ Ⅴ オーケストラ Ⅵ オーケストラ Ⅶ オーケストラ Ⅷ 室内楽Ⅰ 室内楽Ⅱ 室内楽Ⅲ 室内楽Ⅳ 室内楽Ⅴ 室内楽Ⅵ	教授			弦楽器Ⅰ 弦楽器Ⅱ 弦楽器Ⅲ 弦楽器Ⅳ 弦楽器Ⅴ 弦楽器Ⅵ 弦楽器Ⅶ 弦楽器Ⅷ 卒業作品又は 卒業研究又は 卒業演奏 室内楽(鍵盤と 弦)Ⅰ 室内楽(鍵盤と 弦)Ⅱ 室内楽(鍵盤と 弦)Ⅲ 専門合奏Ⅰ 専門合奏Ⅱ 専門合奏Ⅲ 専門合奏Ⅳ 専門合奏Ⅴ 専門合奏Ⅵ 専門合奏Ⅶ 専門合奏Ⅷ オーケストラ Ⅰ オーケストラ Ⅱ オーケストラ Ⅲ オーケストラ Ⅳ オーケストラ Ⅴ オーケストラ Ⅵ オーケストラ Ⅶ オーケストラ Ⅷ 室内楽Ⅰ 室内楽Ⅱ 室内楽Ⅲ 室内楽Ⅳ 室内楽Ⅴ 室内楽Ⅵ	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25) 平成26年4月 教授に昇格(26)
専任	准教授	長谷川 慶岳 (39)	平成24年 4月	ソルフェー ジュⅠ ソルフェー ジュⅡ ソルフェー ジュⅢ 聴音Ⅰ	専任 教授	和泉 耕二 (64)	平成24年 4月	ソルフェージュⅠ	
				聴音Ⅱ	兼任 講師	高橋 徹 (54)	平成24年 4月	聴音Ⅱ	
専任	准教授	角谷 史孝 (64)	平成24年 4月	教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 音楽科指導法 Ⅰ 音楽科指導法 Ⅱ 音楽科教材研 究Ⅰ(合唱指 導法) 音楽科教材研 究Ⅱ(合唱指 導法) 特別活動の研 究 教育実習の研 究 教職実践演習 (中・高)				教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 音楽科指導法 Ⅰ 音楽科指導法 Ⅱ 音楽科指導法 Ⅲ(合唱) 音楽科指導法 Ⅳ(合唱) 特別活動の指 導法 教育実習の指 導 教職実践演習 (中・高)	平成24年3月 教職課程認定申請のため、科 目名称を変更(24)

兼任	講師	秀村 冠一 (60)	平成24年 4月	西洋音楽史 (管弦楽) A 西洋音楽史 (管弦楽) B	専任	准教授 助教	西村 理 (40)	平成25年 4月	西洋音楽史 (管弦楽) A 西洋音楽史 (管弦楽) B	平成24年3月 秀村冠一講師就任辞退のため 平成24年度より担当者の変更 (24) (平成24年度記入ミスのため 平成25年度追記) 平成25年4月 准教授に昇格(25)
専任	助教	石橋 栄実 (38)	平成24年 4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ 声楽基礎演習 AⅡ 声楽基礎演習 BⅡ		准教授			声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ 声楽基礎演習 AⅡ 声楽基礎演習 BⅡ 歌曲研究 AⅠ 文化とオペラ A 文化とオペラ B	平成25年4月 准教授に昇格 教育課程の充実を図るため科目 を追加(25)
専任	助教	井上 かおり (40)	平成24年 4月	心理学 A 心理学 B 日本語ライ ティング A 日本語ライ ティング B 文化とオペラ A ※ 文化とオペラ B ※ 音楽活動ポ ートフォリオ入 門 音楽活動ポ ートフォリオ演 習	兼任	講師	井上 かおり (41)	平成25年 4月	心理学 A 心理学 B 日本語ライ ティング A 日本語ライ ティング B 文化とオペラ A ※ 文化とオペラ B ※	平成25年3月 助教を退職 平成25年4月 兼任教員として科目を担当 (25)
					兼任	講師	山崎 都世子 (38)	平成25年 4月		平成25年3月 井上かおり助教退職のため 平成25年度より担当者の 変更(25) 平成26年3月 山崎都世子講師退職(26) (平成26年度記入ミスのため 平成27年度追記)
					兼任	講師	岡田 和子 (28)	平成26年 4月	音楽活動ポ ートフォリオ入 門 音楽活動ポ ートフォリオ演 習	平成26年3月 山崎都世子講師退職のため 平成26年度より担当者の 変更(26) (平成26年度記入ミスのため 平成27年度追記) 平成27年3月 岡田和子講師退職(27)
					兼任	講師	山口 冴子 (31)	平成27年 4月		平成27年3月 岡田和子講師退職のため 平成27年度より担当者の 変更(27)

					専任	助教	高橋 典子 (40)	平成27年 4月	日本語ライ ティングB 音楽基礎セミ ナー 音楽活動ポー トフォリオ入 門 音楽活動ポー トフォリオ演 習	平成27年4月 助教に就任。 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
兼任	講師	高 昌帥 (42)	平成24年 4月	管弦楽法A 管弦楽法B デ・スクリップ・ミュー ジック演習A デ・スクリップ・ミュー ジック演習B					管弦楽法A 管弦楽法B デ・スクリップ・ミュー ジック演習A デ・スクリップ・ミュー ジック演習B 楽曲分析AⅢ 楽曲分析BⅢ	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
兼任	講師	諸橋 玲子 (59)	平成24年 4月	近代和声法A 近代和声法B スコリーディング基礎 学習A スコリーディング基礎 学習B 音楽形式学A 音楽形式学B 音楽理論Ⅲ 音楽理論Ⅳ 楽曲研究 和声法					近代和声法A 近代和声法B スコリーディング基礎 学習A スコリーディング基礎 学習B 音楽形式学A 音楽形式学B 音楽理論Ⅲ 音楽理論Ⅳ 楽曲研究 和声法 作曲・編曲法 A 作曲・編曲法 B	平成25年度から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
兼任	講師	古賀 恵 (56)	平成24年 4月	音楽通論Ⅰ 音楽通論Ⅱ 楽曲研究 和声法 作曲・編曲法 A 作曲・編曲法 B					音楽通論Ⅰ 音楽通論Ⅱ 音楽理論Ⅰ 音楽理論Ⅱ 楽曲研究 和声法 作曲・編曲法 A 作曲・編曲法 B	平成25年度から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
兼任	講師	岡田 正昭 (63)	平成24年 4月	音楽理論Ⅰ 音楽理論Ⅱ 音楽理論Ⅲ 音楽理論Ⅳ					音楽理論Ⅰ 音楽理論Ⅱ 音楽理論Ⅲ 音楽理論Ⅳ 和声法	平成25年度から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
					兼任	講師	酒井 格 (43)	平成25年 4月	音楽理論Ⅰ 楽曲研究	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(25)

兼任	講師	ブーリー・ア ナビアン (41)	平成24年 4月	民族音楽演奏 演習 A I 民族音楽演奏 演習 B I 民族音楽演奏 演習 A II 民族音楽演奏 演習 B II 民族音楽演奏 演習 A III 民族音楽演奏 演習 B III 民族音楽演奏 演習 A IV 民族音楽演奏 演習 B IV	兼任	講師	谷 正人 (41)	平成25年 4月	民族音楽演奏 演習 A I 民族音楽演奏 演習 B I 民族音楽演奏 演習 A II 民族音楽演奏 演習 B II 民族音楽演奏 演習 A III 民族音楽演奏 演習 B III 民族音楽演奏 演習 A IV 民族音楽演奏 演習 B IV	平成25年3月 ブーリー・アナビアン講師退職 のため平成25年度より担当者の 変更 (25)
兼任	講師	加藤 由紀 (58)	平成24年 4月	西洋音楽史 (鍵盤) A					音楽学演習 A II 音楽学演習 B II 西洋音楽史 (鍵盤) A	平成24年4月 教育課程の充実を図るため、 科目を追加 (24)
兼任	講師	上田 啓子 (64)	平成24年 4月	西洋音楽史 (鍵盤) B					音楽学演習 A I 音楽学演習 B I 西洋音楽史 (鍵盤) B	平成24年4月 教育課程の充実を図るため、 科目を追加 (24)
兼任	講師	芝池 昌美 (47)	平成24年 4月	西洋音楽史 (オペラ) A 西洋音楽史 (オペラ) B 西洋音楽史 (リート) A 西洋音楽史 (リート) B 音楽学講義 現代社会と音 楽					西洋音楽史 (オペラ) A 西洋音楽史 (オペラ) B 西洋音楽史 (リート) A 西洋音楽史 (リート) B 音楽学講義 現代社会と音 楽 文化とオペラ A 文化とオペラ B	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加 (25)
兼任	講師	坂本 利文 (64)	平成24年 4月	音楽プロ デュース論 音楽プロ デュース実践 演習 西洋古楽演奏 演習 A I 西洋古楽演奏 演習 B I 西洋古楽演奏 演習 A II 西洋古楽演奏 演習 B II 西洋古楽演奏 演習 A III 西洋古楽演奏 演習 B III 西洋古楽演奏 演習 A IV 西洋古楽演奏 演習 B IV	兼任	講師	松本 京子 (38)	平成25年4月	音楽プロ デュース論 音楽プロ デュース実践 演習	平成25年3月 坂本利文講師退職のため 平成25年度から担当者の 変更 (25)
					兼任	講師	上田 牧子 (41)	平成25年 4月	西洋古楽演奏 演習 A I 西洋古楽演奏 演習 B I 西洋古楽演奏 演習 A II 西洋古楽演奏 演習 B II 西洋古楽演奏 演習 A III 西洋古楽演奏 演習 B III 西洋古楽演奏 演習 A IV 西洋古楽演奏 演習 B IV	平成25年3月 坂本利文講師退職のため 平成25年度から担当者の 変更 (25)

兼任	講師	晴 雅彦 (45)	平成24年 4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ オペラ研究ＡⅡ オペラ研究ＢⅡ 歌曲研究ＡⅠ 歌曲研究ＢⅠ				声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ 声楽基礎演習 ＡⅠ 声楽基礎演習 ＢⅠ オペラ研究ＡⅡ オペラ研究ＢⅡ 歌曲研究ＡⅠ 歌曲研究ＢⅠ	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)	
兼任	講師	並河 寿美 (42)	平成24年 4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ	専任	准教授		声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ オペラ特別研究 ＡⅡ オペラ特別研究 ＢⅡ	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25) 平成26年4月 准教授に就任	
兼任	講師	松本 薫平 (42)	平成24年 4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ					平成24年3月 松本薫平講師就任辞退(24) 〔「声楽Ⅰ～Ⅷ」は、他に担 当教員が28名いるため、支障 ない。〕	
					兼任	講師	松原 友 (34)	平成26年 4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	水澤 節子 (65)	平成26年 4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	清原 邦仁 (39)	平成26年 4月	オペラ研究ＡⅡ オペラ研究ＢⅡ 文化とオペラ Ａ 文化とオペラ Ｂ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26) 平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(27)

兼任	講師	八木 宣好 (64)	平成24年 4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ						平成27年3月 八木宣好講師退職。 声楽Ⅰ～Ⅷは、他に担当教員 が36名いるため、支障はない (27)
					兼任	講師	尾崎 比佐子 (52)	平成27年 4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
					兼任	講師	雁木 悟 (54)	平成27年 4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
					兼任	講師	熊本 佳永 (45)	平成27年 4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
					兼任	講師	児玉 祐子 (55)	平成27年 4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
					兼任	講師	清水 徹太郎 (35)	平成27年 4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
					兼任	講師	福原 寿美枝 (51)	平成27年 4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
					兼任	講師	藤田 拓也 (35)	平成27年 4月	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 声楽Ⅷ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)

					兼任	講師	唐谷 裕子 (41)	平成27年 4月	オペラ研究A I オペラ研究B I	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
兼任	講師	藤井 快哉 (39)	平成24年 4月	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ 副科鍵盤楽器 Ⅰ 副科鍵盤楽器 Ⅱ 副科鍵盤楽器 Ⅲ 副科鍵盤楽器 Ⅳ 副科鍵盤楽器 Ⅴ 副科鍵盤楽器 Ⅵ 副科鍵盤楽器 Ⅶ 副科鍵盤楽器 Ⅷ 専門特殊研究 (ピアノ) A Ⅰ 専門特殊研究 (ピアノ) B Ⅰ 専門特殊研究 (ピアノ) A Ⅱ 専門特殊研究 (ピアノ) B Ⅱ				ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ 副科鍵盤楽器 Ⅰ 副科鍵盤楽器 Ⅱ 副科鍵盤楽器 Ⅲ 副科鍵盤楽器 Ⅳ 副科鍵盤楽器 Ⅴ 副科鍵盤楽器 Ⅵ 副科鍵盤楽器 Ⅶ 副科鍵盤楽器 Ⅷ 室内楽(鍵盤 と弦) AⅡ 室内楽(鍵盤 と弦) BⅡ 専門特殊研究 (ピアノ) A Ⅰ 専門特殊研究 (ピアノ) B Ⅰ 専門特殊研究 (ピアノ) A Ⅱ 専門特殊研究 (ピアノ) B Ⅱ	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)	
兼任	講師	小出 ひろみ (53)	平成24年 4月	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ 副科鍵盤楽器 Ⅰ 副科鍵盤楽器 Ⅱ 副科鍵盤楽器 Ⅲ 副科鍵盤楽器 Ⅳ 副科鍵盤楽器 Ⅴ 副科鍵盤楽器 Ⅵ 副科鍵盤楽器 Ⅶ 副科鍵盤楽器 Ⅷ				ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ ピアノ基礎講 座B 副科鍵盤楽器 Ⅰ 副科鍵盤楽器 Ⅱ 副科鍵盤楽器 Ⅲ 副科鍵盤楽器 Ⅳ 副科鍵盤楽器 Ⅴ 副科鍵盤楽器 Ⅵ 副科鍵盤楽器 Ⅶ 副科鍵盤楽器 Ⅷ	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)	

兼任	講師	富岡 順子 (52)	平成24年 4月	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ 副科鍵盤楽器 Ⅰ 副科鍵盤楽器 Ⅱ 副科鍵盤楽器 Ⅲ 副科鍵盤楽器 Ⅳ 副科鍵盤楽器 Ⅴ 副科鍵盤楽器 Ⅵ 副科鍵盤楽器 Ⅶ 副科鍵盤楽器 Ⅷ ピアノアンサ ンブルＡⅠ ピアノアンサ ンブルＢⅠ				ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ 副科鍵盤楽器 Ⅰ 副科鍵盤楽器 Ⅱ 副科鍵盤楽器 Ⅲ 副科鍵盤楽器 Ⅳ 副科鍵盤楽器 Ⅴ 副科鍵盤楽器 Ⅵ 副科鍵盤楽器 Ⅶ 副科鍵盤楽器 Ⅷ ピアノアンサ ンブルＡⅠ ピアノアンサ ンブルＢⅠ ピアノアンサ ンブルＡⅢ ピアノアンサ ンブルＢⅢ	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
兼任	講師	恒川 裕子 (61)	平成24年 4月	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ 副科鍵盤楽器 Ⅰ 副科鍵盤楽器 Ⅱ 副科鍵盤楽器 Ⅲ 副科鍵盤楽器 Ⅳ 副科鍵盤楽器 Ⅴ 副科鍵盤楽器 Ⅵ 副科鍵盤楽器 Ⅶ 副科鍵盤楽器 Ⅷ			後任未定		平成24年3月 恒川裕子講師就任辞退。 ピアノⅠ～Ⅷ及び副科鍵盤楽 器Ⅰ～Ⅷは他に56名の担当者 がいるため、支障はない。 (24) (平成24年度記入ミスのため 平成25年度追記)
兼任	講師	中嶋 登志 (60)	平成24年 4月	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ 副科鍵盤楽器 Ⅰ 副科鍵盤楽器 Ⅱ 副科鍵盤楽器 Ⅲ 副科鍵盤楽器 Ⅳ 副科鍵盤楽器 Ⅴ 副科鍵盤楽器 Ⅵ 副科鍵盤楽器 Ⅶ 副科鍵盤楽器 Ⅷ			後任未定		平成24年3月 中嶋登志講師就任辞退。 ピアノⅠ～Ⅷ及び副科鍵盤楽 器Ⅰ～Ⅷは他に56名の担当者 がいるため、支障はない。 (24) (平成24年度記入ミスのため 平成25年度追記)

兼任	講師	畑 和佳子 (65)	平成24年 4月	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ 副科鍵盤楽器Ⅰ 副科鍵盤楽器Ⅱ 副科鍵盤楽器Ⅲ 副科鍵盤楽器Ⅳ 副科鍵盤楽器Ⅴ 副科鍵盤楽器Ⅵ 副科鍵盤楽器Ⅶ 副科鍵盤楽器Ⅷ			後任未定			平成27年3月 畑和佳子講師退職。 ピアノⅠ～Ⅷ及び副科鍵盤楽器Ⅰ～Ⅷは他に55名の担当者がいるため、支障はない。 (27)
兼任	講師	鳥居 知行 (51)	平成24年 4月	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ ピアノ基礎講座B 副科鍵盤楽器Ⅰ 副科鍵盤楽器Ⅱ 副科鍵盤楽器Ⅲ 副科鍵盤楽器Ⅳ 副科鍵盤楽器Ⅴ 副科鍵盤楽器Ⅵ 副科鍵盤楽器Ⅶ 副科鍵盤楽器Ⅷ				ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ ピアノ基礎講座B 副科鍵盤楽器Ⅰ 副科鍵盤楽器Ⅱ 副科鍵盤楽器Ⅲ 副科鍵盤楽器Ⅳ 副科鍵盤楽器Ⅴ 副科鍵盤楽器Ⅵ 副科鍵盤楽器Ⅶ 副科鍵盤楽器Ⅷ 初見試奏Ⅰ	教育課程充実のための科目の追加 (26)	
兼任	講師	中尾 園子 (55)	平成24年 4月	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ 副科鍵盤楽器Ⅰ 副科鍵盤楽器Ⅱ 副科鍵盤楽器Ⅲ 副科鍵盤楽器Ⅳ 副科鍵盤楽器Ⅴ 副科鍵盤楽器Ⅵ 副科鍵盤楽器Ⅶ 副科鍵盤楽器Ⅷ				ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ ピアノⅧ 副科鍵盤楽器Ⅰ 副科鍵盤楽器Ⅱ 副科鍵盤楽器Ⅲ 副科鍵盤楽器Ⅳ 副科鍵盤楽器Ⅴ 副科鍵盤楽器Ⅵ 副科鍵盤楽器Ⅶ 副科鍵盤楽器Ⅷ ピアノ指導法AⅠ	教育課程充実のための科目の追加 (26)	

					兼任 講師	河瀬 諭 (38)	平成27年 4月	ピアノ指導法 AⅡ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 科目及び担当者を追加(27)
					兼任 講師	棚田 都美子 (59)	平成27年 4月	即興演奏Ⅰ 即興演奏Ⅱ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 科目及び担当者を追加(27)
					兼任 講師	井本 英子 (54)	平成27年 4月	ピアノ指導法 BⅡ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 科目及び担当者を追加(27)
					兼任 講師	中 沢 (53)	平成27年 4月	移調奏	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 科目及び担当者を追加(27)
兼任	講師	小川 哲生 (62)	平成24年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ				管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ オーケストラ Ⅰ オーケストラ Ⅱ オーケストラ Ⅲ オーケストラ Ⅳ	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
兼任	講師	武田 仁 (39)	平成24年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ 専門合奏Ⅰ 専門合奏Ⅱ 専門合奏Ⅲ 専門合奏Ⅳ 専門合奏Ⅴ 専門合奏Ⅵ 専門合奏Ⅶ 専門合奏Ⅷ				管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ 副科吹奏楽A 副科吹奏楽B 専門合奏Ⅰ 専門合奏Ⅱ 専門合奏Ⅲ 専門合奏Ⅳ 専門合奏Ⅴ 専門合奏Ⅵ 専門合奏Ⅶ 専門合奏Ⅷ	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
					兼任 講師	葛西 友子 (34)	平成25年 4月	副科吹奏楽A 副科吹奏楽B	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(25)
兼任	講師	柴田 孝治郎 (61)	平成24年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ		後任未定			平成24年3月 柴田孝治郎講師就任辞退。 管楽器Ⅰ～Ⅶは他に41名の担 当者がいるため、支障はな い。(24) (平成24年度記入ミスのため 平成25年度追記)
兼任	講師	前田 昌宏 (59)	平成24年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ					平成26年3月 前田昌宏講師退職。 管楽器Ⅰ～Ⅶは他に47名の担 当者がいるため、支障はな い。(26)

兼任	講師	飯塚 一郎 (56)	平成24年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ						平成26年3月 飯塚一郎講師退職。 管楽器Ⅰ～Ⅶは他に47名の担 当者がいるため、支障はな い。(26)
					兼任	講師	青山 秀直 (47)	平成26年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	飯田 裕貴 (27)	平成26年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	大島 弥洲夫 (36)	平成26年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	川浪 浩一 (30)	平成26年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	澤嶋 秀昌 (44)	平成26年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	篠崎 孝 (28)	平成26年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	清水 信貴 (56)	平成26年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)

					兼任	講師	中川 直子 (36)	平成26年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	佛田 明希子 (38)	平成26年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	星野 則雄 (57)	平成26年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	松下 浩之 (49)	平成26年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	松田 信洋 (49)	平成26年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	新 真二 (56)	平成26年 4月	弦楽器Ⅰ 弦楽器Ⅱ 弦楽器Ⅲ 弦楽器Ⅳ 弦楽器Ⅴ 弦楽器Ⅵ 弦楽器Ⅶ 弦楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	神吉 正 (45)	平成26年 4月	弦楽器Ⅰ 弦楽器Ⅱ 弦楽器Ⅲ 弦楽器Ⅳ 弦楽器Ⅴ 弦楽器Ⅵ 弦楽器Ⅶ 弦楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	近藤 浩志 (46)	平成26年 4月	弦楽器Ⅰ 弦楽器Ⅱ 弦楽器Ⅲ 弦楽器Ⅳ 弦楽器Ⅴ 弦楽器Ⅵ 弦楽器Ⅶ 弦楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	三瀬 由起子 (35)	平成26年 4月	弦楽器Ⅰ 弦楽器Ⅱ 弦楽器Ⅲ 弦楽器Ⅳ 弦楽器Ⅴ 弦楽器Ⅵ 弦楽器Ⅶ 弦楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	渡辺 美穂 (31)	平成26年 4月	弦楽器Ⅰ 弦楽器Ⅱ 弦楽器Ⅲ 弦楽器Ⅳ 弦楽器Ⅴ 弦楽器Ⅵ 弦楽器Ⅶ 弦楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26) 平成27年3月渡辺美穂講師就 任辞退。弦楽器Ⅰ～Ⅷは他 に20名の担当者がいるため、 支障はない。(27)

					兼任	講師	堀内 吉昌 (46)	平成26年 4月	打楽器Ⅰ 打楽器Ⅱ 打楽器Ⅲ 打楽器Ⅳ 打楽器Ⅴ 打楽器Ⅵ 打楽器Ⅶ 打楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	間瀬 尚美 (34)	平成26年 4月	打楽器Ⅰ 打楽器Ⅱ 打楽器Ⅲ 打楽器Ⅳ 打楽器Ⅴ 打楽器Ⅵ 打楽器Ⅶ 打楽器Ⅷ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
					兼任	講師	倉橋 日出夫 (58)	平成27年 4月	専門合奏Ⅰ 専門合奏Ⅱ 専門合奏Ⅲ 専門合奏Ⅳ 専門合奏Ⅴ 専門合奏Ⅵ 専門合奏Ⅶ 専門合奏Ⅷ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
					兼任	講師	里屋 幸 (38)	平成27年 4月	弦楽器Ⅰ 弦楽器Ⅱ 弦楽器Ⅲ 弦楽器Ⅳ 弦楽器Ⅴ 弦楽器Ⅵ 弦楽器Ⅶ 弦楽器Ⅷ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
					兼任	講師	清水 明 (63)	平成27年 4月	室内楽Ⅰ 室内楽Ⅱ 室内楽Ⅲ 室内楽Ⅳ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
					兼任	講師	高鍋 歩 (42)	平成27年 4月	打楽器Ⅰ 打楽器Ⅱ 打楽器Ⅲ 打楽器Ⅳ 打楽器Ⅴ 打楽器Ⅵ 打楽器Ⅶ 打楽器Ⅷ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
					兼任	講師	中井 信輔 (47)	平成27年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
					兼任	講師	中西 順 (48)	平成27年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
					兼任	講師	松田 貴之 (48)	平成27年 4月	管楽器Ⅰ 管楽器Ⅱ 管楽器Ⅲ 管楽器Ⅳ 管楽器Ⅴ 管楽器Ⅵ 管楽器Ⅶ 管楽器Ⅷ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
					兼任	講師	柳生 厚彦 (60)	平成27年 4月	弦楽器Ⅰ 弦楽器Ⅱ 弦楽器Ⅲ 弦楽器Ⅳ 弦楽器Ⅴ 弦楽器Ⅵ 弦楽器Ⅶ 弦楽器Ⅷ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)

					兼任	講師	日比 浩一 (54)	平成27年 4月	弦楽器特B I 弦楽器特B II 弦楽器特B III 弦楽器特B IV 弦楽器特B V 弦楽器特B VI 弦楽器特B VII 弦楽器特B VIII	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加(27)
兼任	講師	三浦 由美子 (60)	平成24年 4月	弦楽器 I 弦楽器 II 弦楽器 III 弦楽器 IV 弦楽器 V 弦楽器 VI 弦楽器 VII 弦楽器 VIII 専門合奏 I 専門合奏 II 専門合奏 III 専門合奏 IV 専門合奏 V 専門合奏 VI 専門合奏 VII 専門合奏 VIII	兼任	講師	松村 衣里 (38)	平成25年 4月	弦楽器 I 弦楽器 II 弦楽器 III 弦楽器 IV 弦楽器 V 弦楽器 VI 弦楽器 VII 弦楽器 VIII 専門合奏 I 専門合奏 II 専門合奏 III 専門合奏 IV 専門合奏 V 専門合奏 VI 専門合奏 VII 専門合奏 VIII	平成25年3月 三浦由美子講師退職のため 平成25年度より担当者の 変更(25)
兼任	講師	中村 一廣 (32)	平成24年 4月	専門合奏 I 専門合奏 II 専門合奏 III 専門合奏 IV 専門合奏 V 専門合奏 VI 専門合奏 VII 専門合奏 VIII			後任未定			平成25年3月 中村一廣講師退職。 専門合奏 I～VIIIは他に 18名の担当者がいるため、 支障はない。(25)
兼任	講師	財津 進 (61)	平成24年 4月	弦楽器 I 弦楽器 II 弦楽器 III 弦楽器 IV 弦楽器 V 弦楽器 VI 弦楽器 VII 弦楽器 VIII 副科管・弦・ 打楽器 I 副科管・弦・ 打楽器 II 副科管・弦・ 打楽器 III 副科管・弦・ 打楽器 IV			後任未定			平成24年3月 財津進講師就任辞退。 弦楽器 I～VIIIは他に11名、副 科管・弦・打楽器 I～IVは他 に49名の担当者がいるため、 支障はない。(24) (平成24年度記入ミスのため 平成25年度追記)
兼任	講師	小田野 宏之 (54)	平成24年 4月	オーケストラ I オーケストラ II オーケストラ III オーケストラ IV オーケストラ V オーケストラ VI オーケストラ VII オーケストラ VIII	兼任	講師	新通 英洋 (53)	平成27年 4月	オーケストラ I オーケストラ II オーケストラ III オーケストラ IV オーケストラ V オーケストラ VI オーケストラ VII オーケストラ VIII	平成27年3月 小田野宏之講師退職のため 平成27年度より担当者の 変更(27)

兼任	講師	星田 一山 (54)	平成24年4月	邦楽楽器AⅠ 邦楽楽器AⅡ 邦楽楽器AⅢ 邦楽楽器AⅣ 邦楽楽器AⅤ 邦楽楽器AⅥ 邦楽楽器AⅦ 邦楽楽器AⅧ 邦楽楽器BⅠ 邦楽楽器BⅡ 邦楽楽器BⅢ 邦楽楽器BⅣ 邦楽楽器BⅤ 邦楽楽器BⅥ 邦楽楽器BⅦ 邦楽楽器BⅧ 副科邦楽合奏 (尺八)A 副科邦楽合奏 (尺八)B 専門合奏Ⅰ 専門合奏Ⅲ 専門合奏Ⅴ 専門合奏Ⅶ 音楽科教材研究A(邦楽指導法) 音楽科教材研究B(邦楽指導法) 卒業作品又は卒業研究又は卒業演奏				邦楽楽器AⅠ 邦楽楽器AⅡ 邦楽楽器AⅢ 邦楽楽器AⅣ 邦楽楽器AⅤ 邦楽楽器AⅥ 邦楽楽器AⅦ 邦楽楽器AⅧ 邦楽楽器BⅠ 邦楽楽器BⅡ 邦楽楽器BⅢ 邦楽楽器BⅣ 邦楽楽器BⅤ 邦楽楽器BⅥ 邦楽楽器BⅦ 邦楽楽器BⅧ 副科邦楽合奏 (尺八)A 副科邦楽合奏 (尺八)B 専門合奏Ⅰ 専門合奏Ⅲ 専門合奏Ⅴ 専門合奏Ⅶ 卒業作品又は卒業研究又は卒業演奏	平成24年3月 教職課程認定申請のため、「音楽科教材研究A(邦楽指導法)」「音楽科教材研究B(邦楽指導法)」を廃止する(24)
兼任	講師	秋山 滋 (47)	平成24年4月	器楽合奏(含和楽器)AⅠ 器楽合奏(含和楽器)BⅠ 器楽合奏(含和楽器)AⅡ 器楽合奏(含和楽器)BⅡ 音楽科教材研究A(リコーダー指導法) 音楽科教材研究B(リコーダー指導法)				器楽合奏(含和楽器)AⅠ 器楽合奏(含和楽器)BⅠ 器楽合奏(含和楽器)AⅡ 器楽合奏(含和楽器)BⅡ	平成24年3月 教職課程認定申請のため、「音楽科教材研究A(リコーダー指導法)」「音楽科教材研究B(リコーダー指導法)」を廃止する(24)
兼任	講師	伏見 浩子 (51)	平成24年4月	専門合奏Ⅰ 専門合奏Ⅱ 専門合奏Ⅲ 専門合奏Ⅳ 専門合奏Ⅴ 専門合奏Ⅵ 専門合奏Ⅶ 専門合奏Ⅷ				専門合奏Ⅰ 専門合奏Ⅱ 専門合奏Ⅲ 専門合奏Ⅳ 専門合奏Ⅴ 専門合奏Ⅵ 専門合奏Ⅶ 専門合奏Ⅷ オーケストラⅠ オーケストラⅡ オーケストラⅢ オーケストラⅣ	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)

					兼任	講師	渡邊 秀之 (58)	平成26年 4月	吹奏楽を素材 とした音楽指 導 A 吹奏楽を素材 とした音楽指 導 B	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加 (26)
兼任	講師	畑本 浩 (49)	平成24年 4月	ジャズⅠ ジャズⅡ ジャズⅢ ジャズⅣ ジャズⅤ ジャズⅥ ジャズⅦ ジャズⅧ 副科ジャズ・ ピアノ演習Ⅰ 副科ジャズ・ ピアノ演習Ⅱ						
					兼任	講師	関谷 友加里 (29)	平成25年4月	副科ジャズ・ピ アノ演習Ⅰ 副科ジャズ・ピ アノ演習Ⅱ	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (25)
					兼任	講師	関谷 友加里 (29)	平成25年4月	専門合奏Ⅰ 専門合奏Ⅱ 専門合奏Ⅲ 専門合奏Ⅳ 専門合奏Ⅴ 専門合奏Ⅵ 専門合奏Ⅶ 専門合奏Ⅷ	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加 (25)
					兼任	講師	鈴木 孝紀 (36)	平成26年 4月	ジャズⅠ ジャズⅡ ジャズⅢ ジャズⅣ ジャズⅤ ジャズⅥ ジャズⅦ ジャズⅧ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加 (26)
					兼任	講師	横山 未希 (29)	平成26年 4月	ジャズⅠ ジャズⅡ ジャズⅢ ジャズⅣ ジャズⅤ ジャズⅥ ジャズⅦ ジャズⅧ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加 (26)
					兼任	講師	広瀬 未来 (31)	平成27年 4月	ジャズアンサ ンブルⅦ ジャズアンサ ンブルⅧ	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者を追加 (27)

兼任	講師	森本 友紀 (51)	平成24年 4月	電子オルガンⅠ 電子オルガンⅡ 電子オルガンⅢ 電子オルガンⅣ 電子オルガンⅤ 電子オルガンⅥ 電子オルガンⅦ 電子オルガンⅧ 電子オルガンクラシック基礎演習Ⅰ 電子オルガンクラシック基礎演習Ⅱ 電子オルガンクラシック基礎演習Ⅲ 電子オルガンクラシック基礎演習Ⅳ 電子オルガンクラシック応用演習Ⅰ 電子オルガンクラシック応用演習Ⅱ 電子オルガンクラシック応用演習Ⅲ 電子オルガンクラシック応用演習Ⅳ 電子オルガンアンサンブルⅠ 電子オルガンアンサンブルⅡ 電子オルガンアンサンブルⅢ 電子オルガンアンサンブルⅣ 副科鍵盤楽器Ⅰ 副科鍵盤楽器Ⅱ 副科鍵盤楽器Ⅲ 副科鍵盤楽器Ⅳ 副科鍵盤楽器Ⅴ 副科鍵盤楽器Ⅵ 副科鍵盤楽器Ⅶ 副科鍵盤楽器Ⅷ				電子オルガンⅠ 電子オルガンⅡ 電子オルガンⅢ 電子オルガンⅣ 電子オルガンⅤ 電子オルガンⅥ 電子オルガンⅦ 電子オルガンⅧ 電子オルガンクラシック基礎演習Ⅰ 電子オルガンクラシック基礎演習Ⅱ 電子オルガンクラシック基礎演習Ⅲ 電子オルガンクラシック基礎演習Ⅳ 電子オルガンクラシック応用演習Ⅰ 電子オルガンクラシック応用演習Ⅱ 電子オルガンクラシック応用演習Ⅲ 電子オルガンクラシック応用演習Ⅳ 電子オルガンアンサンブルⅠ 電子オルガンアンサンブルⅡ 電子オルガンアンサンブルⅢ 電子オルガンアンサンブルⅣ 副科鍵盤楽器Ⅰ 副科鍵盤楽器Ⅱ 副科鍵盤楽器Ⅲ 副科鍵盤楽器Ⅳ 副科鍵盤楽器Ⅴ 副科鍵盤楽器Ⅵ 副科鍵盤楽器Ⅶ 副科鍵盤楽器Ⅷ 卒業演奏	教育課程充実のため科目を追加(27)	
兼任	講師	大津 仁美 (25)	平成24年 4月	電子オルガンAⅠ 電子オルガンBⅠ 電子オルガンAⅡ 電子オルガンBⅡ	兼任	講師	真子 善行 (59)	平成25年4月	電子オルガンAⅠ 電子オルガンBⅠ 電子オルガンAⅡ 電子オルガンBⅡ	平成25年3月 大津仁美講師退職のため 平成25年度より担当者の 変更(25)
					兼任	講師	杉本 友樹 (25)	平成26年 4月	電子オルガンジャズ・ポピュラー応用演習Ⅰ 電子オルガンジャズ・ポピュラー応用演習Ⅱ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)

					兼任	講師	久保田 敦史 (56)	平成26年 4月	電子オルガン アンサンブル Ⅰ 電子オルガン アンサンブル Ⅱ	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
兼任	講師	森川 陽子 (34)	平成24年 4月	ソルフェー ージュⅡ ソルフェー ージュⅣ					ソルフェー ージュⅡ ソルフェー ージュⅢ ソルフェー ージュⅣ 視奏A 視奏B	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
兼任	講師	脇山 幹士 (43)	平成24年 4月	応用ソル フェージュⅠ 応用ソル フェージュⅡ					応用ソル フェージュⅠ 応用ソル フェージュⅡ 指導者基礎演 習Ⅰ 指導者基礎演 習Ⅱ 指導者基礎演 習Ⅲ 指導者基礎演 習Ⅳ	教育課程充実のため科目の追 加(26) 教育課程充実のため科目を追 加(27)
兼任	講師	高橋 徹 (54)	平成24年 4月	ソルフェー ージュⅢ ソルフェー ージュⅣ 教養基礎セミ ナー 情報処理概論 A 情報処理概論 B					ソルフェー ージュⅢ ソルフェー ージュⅣ 教養基礎セミ ナー 情報処理概論 A 情報処理概論 B 聴音A 聴音B 音楽基礎セミ ナー	平成24年3月 長谷川慶岳准教授就任辞退・ 退職のため平成24年度から担 当科目を追加(24)
兼任	講師	熊谷 美紀 (48)	平成24年4 月	ソルフェー ージュⅢ ソルフェー ージュⅣ ソルフェー ージュ教育法A ソルフェー ージュ教育法B	専任	准教授	熊谷 美紀 (49)	平成25年 4月	音楽基礎セミ ナー ソルフェー ージュⅠ ソルフェー ージュⅡ ソルフェー ージュⅢ ソルフェー ージュⅣ ソルフェー ージュⅥ 応用ソル フェージュⅠ 応用ソル フェージュⅡ ソルフェー ージュ教育法A ソルフェー ージュ教育法B	平成25年4月 准教授として採用。 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25)

兼任	講師	木村 竜太 (39)	平成24年4月	西洋史 A 西洋史 B	兼任	講師	米本 雅一 (35)	平成24年4月	西洋史 A 西洋史 B	平成24年3月 木村竜太講師が就任辞退のため平成24年度より担当者の変更(24) (平成24年度記入ミスのため平成25年度追記) 平成26年3月 米本雅一講師退職(26)
									文化とオペラ A 文化とオペラ B	平成25年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(25) 平成26年3月 米本雅一講師退職(26)
兼任	講師	八木 広美 (47)	平成24年4月	文学 A 文学 B					文学 A 文学 B 文化とオペラ A 文化とオペラ B	平成26年3月 米本雅一講師退職のため平成26年度より担当者を八木広美講師に変更(26)
					兼任	講師	廖 修雅 (36)	平成25年4月	日本国憲法 A 日本国憲法 B	平成25年4月から教育課程の充実を図るため担当者の追加(25)
兼任	講師	藤原 誠 (59)	平成24年4月	日本国憲法 A 日本国憲法 B						平成27年3月 藤原誠講師退職。 日本国憲法 A、日本国憲法 B は他に担当教員が1名いるため、支障はない(27)
兼任	講師	田名網 陽子 (66)	平成24年4月	体育 A 体育 B	兼任	講師	田名網 宏子 (40)	平成26年4月	体育 A 体育 B	平成26年3月 田名網陽子講師退職のため平成26年度より担当者を田名網宏子講師に変更(26)
兼任	講師	島津 達雄 (62)	平成24年4月	英語 A I 英語 A II					英語 A I 英語 A II 英語 C I 英語 C II	平成25年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(25)
兼任	講師	浜野 万里子 (49)	平成24年4月	英語 A III 英語 A IV 英語 C I 英語 C II					英語 A III 英語 A IV 英語 B III 英語 B IV 英語 C I 英語 C II 英語 C III 英語 C IV	平成25年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(25)
兼任	講師	小林 美智代 (52)	平成24年4月	英語 A III 英語 A IV					英語 A III 英語 A IV 英語 B III 英語 B IV	平成25年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(25)
兼任	講師	横井 希 (39)	平成24年4月	英語 B I 英語 B II					英語 B I 英語 B II 応用外国語(英語) A I 応用外国語(英語) A II	平成25年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(25)
兼任	講師	ジョセフ・クロニン (52)	平成24年4月	英語 B III 英語 B IV					英語 B I 英語 B II 英語 B III 英語 B IV	平成25年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(25)

兼任	講師	河合 良三 (56)	平成24年4月	ドイツ語 B I ドイツ語 B II					ドイツ語 B I ドイツ語 B II ドイツ語 C III ドイツ語 C IV	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
兼任	講師	上野 義久 (62)	平成24年4月	ドイツ語 C I ドイツ語 C II	兼任	講師	阪井 葉子 (51)	平成25年 4月	ドイツ語 C I ドイツ語 C II	平成25年3月 上野義久講師退職のため 平成25年度より担当者の 変更(25) 平成26年3月 阪井葉子講師退職(26)
					兼任	講師	木戸 紗織 (30)	平成26年 4月	ドイツ語 C I ドイツ語 C II	平成26年3月 阪井葉子講師退職のため 平成26年度より担当者の変更 (26)
									応用外国語 (ドイツ語) B I 応用外国語 (ドイツ語) B II	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(26)
兼任	講師	中畑 寛之 (43)	平成24年4月	フランス語 B I フランス語 B II フランス語 C III フランス語 C IV	兼任	講師	宮内 明子 (60)	平成25年4月	フランス語 B I フランス語 B II フランス語 C I フランス語 C II	平成25年3月 中畑寛之講師退職のため 平成25年度より担当者の 変更(25)
兼任	講師	ドミニク・ル トランジェー (53)	平成24年4月	フランス語コ ミュニケー ションA フランス語コ ミュニケー ションB			後任未定			平成25年3月 ドミニク・ルトランジェー講師 退職(25) 履修基準年次が3年次のため 平成26年4月の開講に向けて 担当教員を採用予定。
					兼任	講師	マチュー・ シュレック (31)	平成26年4月	フランス語コ ミュニケー ションA フランス語コ ミュニケー ションB	平成25年3月 ドミニク・ルトランジェー講師 退職のため 平成26年度から担当者の変更 (26)
							後任未定			平成27年3月 マチュー・シュレック講師退 職。 後任予定者が就任を辞退した ため平成27年度は開講中止。 平成28年4月の開講に向けて 担当教員を採用予定。(27)
兼任	講師	宮内 明子 (59)	平成24年4月	フランス語 A I フランス語 A II 応用外国語 (フランス 語) B I 応用外国語 (フランス 語) B II					フランス語 A I フランス語 A II フランス語 A III フランス語 A IV 応用外国語(フ ランス語) A I 応用外国語(フ ランス語) B I 応用外国語(フ ランス語) B II	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)

兼任	講師	杉岡 享子 (49)	平成24年4月	イタリア語 A I イタリア語 A II イタリア語 B III イタリア語 B IV						平成26年3月 杉岡享子講師退職(26) 担当科目は他に1名の担当者がいるため、支障はない。 (26)
兼任	講師	小松 寛明 (49)	平成24年4月	イタリア語 B I イタリア語 B II						平成27年3月 小松寛明講師退職(27) イタリア語 B I、イタリア語 B II は他に担当教員が1名いるため、支障はない。(27)
兼任	講師	杉本 裕之 (59)	平成24年4月	イタリア語 A III イタリア語 A IV					イタリア語 A I イタリア語 A II イタリア語 A III イタリア語 A IV	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
兼任	講師	中川 亜紀子 (37)	平成24年4月	ドイツ語 A I ドイツ語 A II ドイツ語 B I ドイツ語 B II						平成26年3月 中川亜紀子講師退職(26)
兼任	講師	奥田 誠司 (49)	平成24年4月	ドイツ語 C III ドイツ語 C IV					ドイツ語 A I ドイツ語 A II ドイツ語 B III ドイツ語 B IV ドイツ語 C III ドイツ語 C IV	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25) 平成26年3月 中川亜紀子講師退職のため 平成26年度から担当者的変更 (26)
兼任	講師	林 晶 (64)	平成24年4月	ドイツ語 C III ドイツ語 C IV					ドイツ語 B I ドイツ語 B II ドイツ語 C III ドイツ語 C IV	中川亜紀子講師退職のため 平成26年度から担当者的変更 (26)
兼任	講師	霧道 哲彦 (57)	平成24年4月	ドイツ語 A III ドイツ語 A IV					応用外国語 (英語) A I 応用外国語 (英語) A II 応用外国語 (英語) B I 応用外国語 (英語) B II	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
兼任	講師	中川 光 (55)	平成24年4月	応用外国語 (イタリア語) A I 応用外国語 (イタリア語) A II					イタリア語 A I イタリア語 A II 応用外国語 (イタリア語) A I 応用外国語 (イタリア語) A II	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
兼任	講師	有井 松雄 (58)	平成24年4月	応用外国語 (英語) B I 応用外国語 (英語) B II					英語 B I 英語 B II 応用外国語 (英語) B I 応用外国語 (英語) B II	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25) 平成26年3月 有井松雄講師退職(26)
兼任	講師	デビッド・ホイル (58)	平成24年4月	英語 B III 英語 B IV					英語 B III 英語 B IV 英語 B I 英語 B II	平成26年3月 有井松雄講師退職のため 平成26年度から担当者的変更 (26)

兼任	講師	横井 希 (39)	平成24年4月	英語 B I 英語 B II					英語 B I 英語 B II 応用外国語 (英語) A I 応用外国語 (英語) A II 応用外国語 (英語) B I 応用外国語 (英語) B II	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25) 平成26年3月 有井松雄講師退職のため 平成26年度から担当者の変更 (26)
兼任	講師	ガートルード・イン グレット・大橋 (58)	平成24年4月	ドイツ語コ ミュニケー ションA ドイツ語コ ミュニケー ションB					ドイツ語 B III ドイツ語 B IV ドイツ語コ ミュニケー ションA ドイツ語コ ミュニケー ションB	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
兼任	講師	クリスチア ン・チコー ニャ (39)	平成24年4月	イタリア語コ ミュニケー ションA イタリア語コ ミュニケー ションB					イタリア語 B III イタリア語 B IV イタリア語コ ミュニケー ションA イタリア語コ ミュニケー ションB	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)
兼任	講師	平山 るみ (33)	平成24年4月	クリティカル・シンキン グA クリティカル・シンキン グB 教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 教育心理学 青年心理学 特別活動の研究 教育方法論 教育実習の研究 教職実践演習 (中・高)					クリティカル・シンキン グA クリティカル・シンキン グB 教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 教育心理学 教育方法論 教育実習の指 導 教職実践演習 (中・高)	平成24年3月 教職課程認定申請のため、 「青年心理学」「特別活動の 指導法」担当を辞退。また、 科目名称を変更(24)
兼任	講師	田村 義一 (62)	平成24年4月	教職入門Ⅱ 音楽科指導法 Ⅱ					音楽科指導法 Ⅱ	平成24年3月 教職課程認定申請のため、 「教職入門Ⅱ」担当を辞退 (24)
兼任	講師	増井 一友 (58)	平成24年4月	音楽科教材研 究A(ギター 指導法) 音楽科教材研 究B(ギター 指導法)					教職実践演習 (中・高) 器楽合奏(含 和楽器)AⅠ 器楽合奏(含 和楽器)BⅠ	平成24年3月 教職課程認定申請のため、 「音楽科教材研究A(ギター 指導法)」「音楽科教材研究 B(ギター指導法)」を廃止 する(24) 平成24年4月 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24)
兼任	講師	橋本 龍雄 (57)	平成24年4月	音楽科教材研 究A(創作指 導法) 音楽科教材研 究B(創作指 導法)	専任	教授			音楽科指導法 A(創作) 音楽科指導法 B(創作) 教職実践演習 (中・高) 教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 音楽科指導法 Ⅱ 特別活動の指 導法 教育実習の指 導 教養基礎セミ ナー	平成24年3月 教職課程認定申請のため、科 目名称を変更する。(24) 平成24年4月 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24) 平成27年4月 教授に就任。 教育課程充実のため科目を追 加(27)

兼任	講師	大前 哲彦 (66)	平成24年4月	道德教育論 同和教育論					教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 教育心理学 道德教育論 同和教育論 教育実習の指導 教職実践演習 (中・高)	平成24年4月 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24) 平成26年3月 大前哲彦講師退職 教育心理学は川西千弘講師が 担当するため支障はない。 道德教育論、同和教育論は横 山政夫講師が担当するため支 障はない。 教職入門Ⅰは他に4名、教職 入門Ⅱは他に5名、教育実習 の指導は他に3名、教職実践 演習(中・高)は他に7名の 担当教員がいるため、支障は ない。(26)
兼任	講師	大野 僚 (34)	平成24年4月	教育方法論					教育学概論Ⅰ 教育学概論Ⅱ 教育方法論	平成24年4月 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24)
兼任	講師	横山 政夫 (63)	平成24年4月	生徒指導論Ⅰ (教育相談を 含む。)					特別活動の指 導法 道德教育論 生徒指導論Ⅰ (教育相談を 含む。) 教職実践演習 (中・高) 教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 同和教育論 教養基礎セミ ナー	平成24年4月 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24) 大前哲彦教員退職のため平成 26年度から担当者の変更(26) 平成27年度より 教育課程充実のため科目を追 加(27)
兼任	講師	平山 るみ (33)	平成24年4月						クリティカ ル・シンキン グA クリティカ ル・シンキン グB 教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 教育心理学 青年心理学 特別活動の研 究 教育方法論 教育実習の研 究 教職実践演習 (中・高) 音楽基礎セミ ナー	平成27年度より 教育課程充実のため科目を追 加(27)
					兼任	講師	白川 義夫 (61)	平成24年4月	教職実践演習 (中・高)	平成24年4月 教育課程の充実を図るため、 科目担当として配置(24)
					兼任	講師	森 枝美 (34)	平成24年4月	教育課程論	平成24年4月 教育課程の充実を図るため、 科目担当として配置(24)
					兼任	講師	川西 千弘 (54)	平成24年4月	青年心理学 生徒指導論Ⅱ (進路指導含 む。) 教育心理学	平成24年4月 教育課程の充実を図るため、 科目担当として配置(24) 大前哲彦教員退職のため平成 26年度から担当者の変更(26)
					兼任	講師	串崎 真志 (41)	平成24年4月	生徒指導論Ⅰ (教育相談含 む。)	平成24年4月 教育課程の充実を図るため、 科目担当として配置(24)

5 教員組織の状況

<〇〇学部 △△学科>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例)										
専	教授	〇 〇 〇 〇 (〇〇)	平成24年 4 月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆ ◆ ◆ ◆ (〇〇)	平成25年 4 月	国際経済学	平成25年 3 月 〇〇〇〇教授辞任のため 平成25年度より担当者の 変更 (25)
					兼任	講師	◇ ◇ ◇ ◇ (〇〇)	平成25年 4 月	日本経済概論	
					専	准教授	● ● ● ● (〇〇)	平成25年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△ △ △ △ (〇〇)	平成25年 4 月	商 法						……………のため、就任が遅延 (25)
専	准教授	□ □ □ □ (〇〇)	平成26年10月	金 融 論			後任未定			平成26年10月 □□□□准教授就任辞退 (27) 「後任未定」平成27年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲ ▲ ▲ ▲ (〇〇)	平成26年 4 月	〇〇〇〇論	平成27年 4 月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加 (27)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成		年齢構成(前年度の状況)	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
26	6	0	3	35	29 -28 [3] [-2]	7	0	1 -0 [△2] [-△3]	37 -35 [2] [-0]				
(27)	(4)	(0)	(3)	(34)		[1]	[0]			68歳	0名	68歳	0名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教	井上 かおり	平成22年度に採択された「大学生の就業力支援事業」に関連する「音楽活動ポートフォリオ入門」「音楽活動ポートフォリオ実習」を担当するために専任教員として採用されたが、この事業が2年間で中止となったことから、平成25年度より非常勤講師として勤務願うこととなった。当該科目は平成24年度に採択された「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」と関連づけるため、科目内容を見直し、新たな担当教員に引き継がれた。

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

G P 「大学生の就業力支援事業」と直接関連しない科目は当初の計画どおり担当するため、学生の履修等には大きな影響は及ぼさないと判断している。職位の変更はホームページの教員情報等で明らかになるが、学生に向けて積極的な周知はしていない。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6. 留意事項に対する履行状況等

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (23年4月)	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (24年5月)	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (25年5月)	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (26年5月)	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (27年5月)	該当なし		該当なし	該当なし

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7. その他全般的事項

7 その他全般的事項

<音楽学部 音楽学科>

(1) 設置計画変更事項等

該当なし

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（F D活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

副学長を委員長とするF D統括委員会を設置。10名の教員と1名の事務職員で構成。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成26年度は6回開催。毎回ほぼ全ての委員が参加。

c 委員会の審議事項等

・初年次教育 ・学習支援 ・音楽大学としてのF D活動 ・学生の学習環境の改善

② 実施状況

a 実施内容

・F Dフォーラム
・F D研修会
・キャンパスハラスメント防止研修会

b 実施方法

副学長が学習支援や退学防止の観点から討議のテーマや具体的な取り組み内容を検討している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全教員（専任・非常勤教員）を対象とするF Dフォーラム、研修会は毎年1回の開催。

上記以外に専攻別のF Dフォーラム（専任・非常勤教員）を毎年1回開催。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

専門実技の個人指導を含め、授業の問題点について意見交換し、教育の改善につなげている。

この取組が特に非常勤教員の教育方法の改善に有効である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施有り。各セメスターにおいて12回の授業が終了した時点で2週にわたってアンケート調査を実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

図書館、教職員集会室、各事務部門においてアンケート結果をまとめた冊子を閲覧に供している。

各専攻の教育主任にはCD-ROMを配付している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

大阪音楽大学 F D 総括委員会規程

制 定：2009 年 1 月 1 日

最近改定：2013 年11 月25 日

（目的）

第1条 大阪音楽大学は、大阪音楽大学学則第1条に基づき、FD（ファカルティ・ディベロップメント）活動を推進するため、「FD 総括委員会」（以下「委員会」という）を置く。

（審議事項）

第2条 委員会は次の事項について企画・審議する。

- (1) FD 活動推進のための企画および実施に関する事項
- (2) FD 活動推進の報告作成に関する事項
- (3) FD 推進デスクの運営に関する事項
- (4) その他FD 活動推進に関して委員会が必要とする事項

（組織）

第3条 委員会は、学長及び以下の委員をもって組織する。

- (1) FD 統括主事
- (2) 学務事務部門長
- (3) 専任教員 若干名
- (4) その他委員会が必要と認める専任教職員

（任命・任期）

第4条 前条(3)、(4)の委員は、学長が任命する。

2. 前項の委員の任期は委嘱された年の4 月1 日より2 年とし、委員の再任を妨げない。委員の欠員が生じた場合の補充委員の任期は前任者の残余の期間とする。

（委員長）

第5条 委員会に委員長を置き、委員長は学長が任命する。

2. 委員長は委員会を招集し、議長となる。
3. 委員長に事故あるときは、学長あるいは学長が任命する委員がその職務を代行する。

（FD 推進デスクの運営）

第6条 委員会はFD 推進デスクを運営するために、委員の中から、若干名のFD 推進デスク運営担当委員を選出する。

2. FD 推進デスク運営担当委員の任期は委員会の委員の任期に準じ、委員の欠員が生じた場合の補充委員の任期は前任者の残余の期間とする。

（意見の聴取）

第7条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、意見を聴取することができる。

（事務）

第8条 委員会及びFD 推進デスク室の事務は学務事務部門が担当する。

（規程の改廃）

第9条 この規程の改廃は、教授会の議決を経て、学長の承認によるものとする。

付 則

この規程は、2009 年1月1 日より施行する。

付 則

この規程は、2013 年11 月25 日から施行する。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成24年度に設置した音楽学科に関する総括評価・所見は学長、副学長、自己点検・評価部長、自己点検・評価統括委員会の下で取りまとめを行った。

② 自己点検評価書

a 公表時期

・平成27年3月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開（平成27年3月）
・CD-ROMを希望者に配付

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審し、大学評価基準に適合しているとの認定を得た。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成27年 6月 1日)